2022年度 M6 (第1週) 時間割表

4月 4日(月) ~ 4月 8日(金)

時限	時間	4/4(月)	4/5(火)	4/6(水)	4/7(木)	4/8(金)
I	9:30	オリエンテーション	臨床総合演習 I 循環器2	臨床総合演習 I 消化管1	臨床総合演習 I 血液1	臨床総合演習 I 神経2
	10:45		不整脈 副島京子 循環器内科学	【肝・胆・膵】肝腫瘍の 画像診断とその治療 森 秀明 消化器内科学	造血の基礎・ 赤血球疾患(1) 高山信之 血液内科学	脳血管障害 平野照之 脳卒中医学
II	11:00	臨床総合演習 I 腎臓1	臨床総合演習 I 神経1	臨床総合演習 I 消化管2	臨床総合演習 I 血液2	臨床総合演習 I 呼吸器2
	12:15	腎臓内科1 要 伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	筋疾患・末梢神経障害・ 脊髄疾患 市川弥生子 脳神経内科学	【消化管】 三浦みき 消化器内科学	赤血球疾患(2)・ 白血球疾患(1) 高山信之 血液内科学	呼吸器・甲状腺外科学(全般) 長島 鎮 呼吸器・甲状腺外科学
III	13:15	臨床総合演習 I 循環器1	臨床総合演習 I 腎臓2	臨床総合演習 I 消化管3	【肝・胆・膵】胆道疾患の 診断と治療 土岐真朗 消化器内科学	臨床総合演習 I 感染症1
	14:30	虚血性心疾患 小山 幸平 循環器内科学	腎臓内科2 川上貴久 腎臓・リウマチ膠原病内科学	【肝・胆・膵】胆道疾患の 診断と治療 土岐真朗 消化器内科学		ウイルス性発疹症 嶋崎鉄兵 総合医療学
IV	14:45	臨床総合演習 I 高齢医学1	臨床総合演習 I 神経1	臨床総合演習 I 呼吸器1	臨床総合演習 I 呼吸器1	臨床総合演習 I 内分泌・代謝病学1
	16:00	内科総論 神崎恒一 高齢医学	脳神経外科総論・ 頭部外傷ほか 塩川芳昭 脳神経外科学	呼吸器感染症 血谷 健 呼吸器内科学	糖尿病 近藤琢磨 糖尿病・内分泌・代謝内科学	

2022年度 M6 (第2週) 時間割表

4月 11日(月) ~ 4月 15日(金)

時限	時間	4/11(月)	4/12(火)	4/13(水)	4/14(木)	4/15(金)
I	9:30	臨床総合演習 I 内分泌・代謝病学2	臨床総合演習 I 内分泌・代謝病学4	臨床総合演習 I 消化管5	臨床総合演習 I 血液3	臨床総合演習 I 呼吸器2 閉塞性肺疾患 (COPD、喘息、など) 田村仁樹 呼吸器内科学
	10:45	視床下部・下垂体疾患 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学	甲状腺・副甲状腺疾患 村嶋俊隆 糖尿病・内分泌・代謝内科学	【消化管】IBD、GD1、腸 結核 松浦 稔 消化器内科学	白血球疾患(2) 高山信之 血液内科学	
II	11:00	臨床総合演習 I 内分泌・代謝病学3	臨床総合演習 I 免疫・アレルギー1	臨床総合演習 I 膠原病1	臨床総合演習 I 血液4	臨床総合演習 I 呼吸器2 閉塞性肺疾患 (COPD、喘息、など) 田村仁樹 呼吸器内科学
	12:15	副腎疾患 近藤琢磨 糖尿病・内分泌・代謝内科学		川嶋聡子 腎臓・リウマチ膠原病内科学	高山信之 血液内科学	
III	13:15	臨床総合演習 I 神経2	臨床総合演習 I 消化管6	【肝・胆・膵】膵疾患の 診断と治療 土岐真朗 消化器内科学	臨床総合演習 I 感染症1	健康 診 断
	14:30	脳腫瘍・脳血管障害 中富浩文 脳神経外科学			感染症1 三戸部治郎 感染症学	
IV	14:45	臨床総合演習 I 循環器3	臨床総合演習 I 消化管4	臨床総合演習 I 循環器3	臨床総合演習 I 神経3	臨床総合演習 I 変性・代謝・中毒・ 感染・脱髄・炎症 千葉厚郎 脳神経内科学
	16:00	血管外科・心臓外科 峯岸祥人・伊佐治寿彦 心臓血管外科学	【肝・胆・膵】 肝疾患の診断と治療 川村直弘 消化器内科学	心不全・ショック 河野隆志 循環器内科学		

2022年度 M6 (第3週) 時間割表

4月18日(月)～4月22日(金)

時限	時間	4/18(月)	4/19(火)	4/20(水)	4/21(木)	4/22(金)
I	9:30	臨床総合演習 I 呼吸器3 拘束性肺疾患 石井晴之 呼吸器内科学	臨床総合演習 I 感染症2 院内感染対策 倉井大輔 総合医療学		臨床総合演習 I 感染症3 HIV/免疫不全症/性感染症 倉井 大輔 総合医療学	臨床総合演習 I 臨床検査 1 検体検査・生理検査・輸血 山崎聡子 臨床検査医学
	10:45					
II	11:00	臨床総合演習 I 医学総論1 生活習慣病 徳永健吾 総合医療学	臨床総合演習 I 外科総論1 総論演習1 伊坂泰嗣 乳癌外科学	臨床総合演習 I 腎臓3 腎臓内科3 福岡利仁 腎臓・リウマチ膠原病内科学	臨床総合演習 I 消化管7 【消化管】食道・胃疾患の診断と治療 大野亜希子 消化器内科学	
	12:15					
III	13:15	臨床総合演習 I 消化管1 【消化管】食道・胃疾患 阿部展次 消化器・一般外科学	臨床総合演習 I 循環器4 心筋疾患 坂田好美 循環器内科学	臨床総合演習 I 消化管2 【消化管】下部消化管疾患 須並英二 消化器・一般外科学	臨床総合演習 I 免疫・アレルギー-3 膠原病3 駒形嘉紀 腎臓・リウマチ膠原病内科学	健康診断 (13:15～)
	14:30					
IV	14:45	臨床総合演習 I 免疫・アレルギー-2 膠原病2 岸本輔将 腎臓・リウマチ膠原病内科学	臨床総合演習 I 診療録記載1 診療録記載 矢島知治 医学教育学	臨床総合演習 I 消化管3 【肝・胆・膵】肝胆膵疾患の診断と治療 阪本良弘 消化器・一般外科学	臨床総合演習 I 消化管8 【消化管】大腸・小腸疾患の診断と治療 林田真理 消化器内科学	
	16:00					

※ 5月6日(金)は、総合試験 1期

2022年度 M6 クリニカルクラークシップ 時間割

5月9日(月)～6月3日(金)

時限	時間	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
I	9:30	クリニカルクラークシップ (臨床応用実習) ブロック 4				
	10:45					
II	11:00					
	12:15					
III	13:15					
	14:30					
IV	14:45					
	16:00					

2022年度 M6 クリニカルクラークシップ 時間割

6月6日(月)～7月1日(金)

時限	時間	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
I	9:30	クリニカルクラークシップ (臨床応用実習) ブロック5				
	5					
10:45						
II	11:00					
	5					
12:15						
III	13:15					
	5					
14:30						
IV	14:45					
	5					
16:00						

2022年度 M6 クリニカルクラークシップ 時間割

7月4日(月)～7月29日(金)

時限	時間	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
I	9:30	クリニカルクラークシップ (臨床応用実習) ブロック6				
	5					
10:45						
II	11:00					
	5					
12:15						
III	13:15					
	5					
14:30						
IV	14:45					
	5					
16:00						

※ 8/1(月)～8/2(火) 第1回TECOM模試

※ 8/18(木)～8/21(日) 夏合宿

2022年度 M6 (第4週) 時間割表

8月22日(月)～8月26日(金)

時限	時間	8/22(月)	8/23(火)	8/24(水)	8/25(木)	8/26(金)	8/27(土)
I	9:30	OSCE説明会	臨床総合演習 I 小児2 免疫・膠原病・腎臓・川崎病 福原大介 小児科学	臨床総合演習 I 産科婦人科1 子宮腫瘍 森定 徹 産科婦人科学	臨床総合演習 II (復習) 血液1 造血の基礎、赤血球疾患 高山信之 血液内科学		
	10:45						
II	11:00	臨床総合演習 I 小児1 神経疾患・神経筋疾患・発達障害 宮田世羽 小児科学		臨床総合演習 I 小児3 成長・発達 アレルギー 成田雅美 小児科学	臨床総合演習 II (復習) 血液2 白血球疾患、止血血栓の疾患 高山信之 血液内科学		
	12:15						
III	13:15	臨床総合演習 II (復習) 消化管1 【肝・胆・膵】 土岐真朗 消化器内科学	臨床総合演習 II (復習) 循環器1 高血圧・動脈硬化・大動脈疾患 小山幸平 循環器内科学	臨床総合演習 II (復習) 神経1 筋疾患・末梢神経障害・脊髄疾患 市川弥生子 脳神経内科学			
	14:30						
IV	14:45	臨床総合演習 II (復習) 内分泌・代謝病学 1 視床下部・下垂体疾患 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学	臨床総合演習 II (復習) 腎臓1 腎臓内科1 要 伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	臨床総合演習 II (復習) 循環器2 弁膜症 南島 俊徳 循環器内科学			
	16:00						

特別講義(仮)

2022年度 M6 (第5週) 時間割表

8月29日(月)～9月2日(金)

時限	時間	8/29(月)	8/30(火)	8/31(水)	9/1(木)	9/2(金)	9/3(土)
I	9:30	公衆衛生学1 公衆衛生総論・健康教育 菊田香苗 衛生学公衆衛生学	臨床総合演習 I 運動器1 関節疾患・骨・軟部外傷一般 小谷明弘 整形外科	臨床総合演習 I 小児4 感染症・予防接種・小児保健 田中絵里子 小児科学		臨床総合演習 I 外科総論2 総論演習2 吉敷智和 消化器・一般外科学	
	10:45						
II	11:00	公衆衛生学2 感染症の動向と予防 菊田香苗 衛生学公衆衛生学	臨床総合演習 I 救急1 【救急】 外傷・救急各論 宮國泰彦 救急医学	臨床総合演習 I 小児5 循環器疾患 保崎 明 小児科学	臨床総合演習 II (復習) 免疫・アレルギー1 膠原病1 駒形嘉紀 腎臓・リウマチ膠原病内科学	公衆衛生学4 医療関係法規 吉田正雄 衛生学公衆衛生学	
	12:15						
III	13:15	臨床総合演習 II (復習) 消化管2 【消化管】 エッセンスのみ復習 三好 潤 消化器内科学	臨床総合演習 II (復習) 呼吸器1 閉塞性肺疾患 布川寛樹 呼吸器内科学	臨床総合演習 II (復習) 呼吸器2 閉塞性肺疾患 布川寛樹 呼吸器内科学	公衆衛生学3 医の倫理、医師の任務 吉田正雄 衛生学公衆衛生学	臨床総合演習 II (復習) 神経3 脳血管障害 平野照之 脳卒中医学	
	14:30						
IV	14:45	臨床総合演習 II (復習) 消化管3 【肝・胆・膵】 肝疾患の診断と治療 川村直弘 消化器内科学	臨床総合演習 II (復習) 腎臓2 腎臓内科2 川上貴久 腎臓・リウマチ膠原病内科学	臨床総合演習 II (復習) 神経2 変性・代謝・中毒・感染・脱髄・炎症 千葉厚郎 脳神経内科学	臨床総合演習 II (復習) 腎臓3 腎臓内科3 福岡利仁 腎臓・リウマチ膠原病内科学		
	16:00						

特別講義(仮)

2022年度 M6 (第6週) 時間割表

9月5日(月)~9月9日(金)

時限	時間	9/5(月)	9/6(火)	9/7(水)	9/8(木)	9/9(金)
I	9:30	公衆衛生学5		臨床総合演習 I		公衆衛生学10
	5	社会保障制度と障害者福祉		乳腺外科学1 乳腺疾患の診断と治療		医療面接
	10:45	岡本博照 保健学部		井本 滋 乳腺外科学		吉田正雄 公衆衛生学
II	11:00	公衆衛生学6	公衆衛生学9	臨床総合演習 I	臨床総合演習 II (復習)	公衆衛生学11
	5	人口保健統計	産業保健 I (労働衛生行政)	産科婦人科2 絨毛性疾患・ 外陰・腫瘍疾患等	消化管4 【消化管】食道・胃疾患 の診断と治療	医療面接
	12:15	岡本博照 保健学部	荻田慎一 衛生学公衆衛生学	産科婦人科学	消化器内科学	吉田正雄 公衆衛生学
III	13:15	公衆衛生学7	臨床総合演習 II (復習)	臨床総合演習 I	臨床総合演習 II (復習)	公衆衛生学12
	5	環境保健 I	循環器3 心内膜炎・心外膜炎・ 心筋炎・腫瘍	産科婦人科3 月経異常	内分泌・代謝病学2 糖尿病	感染症法と感染症の疫学 (特別講義)
	14:30	荻田香苗 衛生学公衆衛生学	合田あゆみ 循環器内科学	滋谷裕美 産科婦人科学	安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学	鎌倉光宏 衛生学公衆衛生学
IV	14:45	公衆衛生8	臨床総合演習 II (復習)	臨床総合演習 II (復習)	臨床総合演習 I	公衆衛生学13
	5	環境保健 II	循環器4 成人先天性心疾患・ 肺塞栓・肺高血圧	皮膚1 皮膚科学全般	眼科1 後眼部疾患1	感染症法と感染症の疫学 (特別講義)
	16:00	荻田香苗 衛生学公衆衛生学	伊波 巧 循環器内科学	水川良子 皮膚科学	廣田和成 眼科学	鎌倉光宏 衛生学公衆衛生学

2022年度 M6 (第7週) 時間割表

9月12日(月)~9月16日(金)

時限	時間	9/12(月)	9/13(火)	9/14(水)	9/15(木)	9/16(金)	9/17(土)
I	9:30	臨床総合演習 II (復習)	臨床総合演習 I	臨床総合演習 I		公衆衛生学15	O S C E (予 定)
	5	免疫・アレルギー2	救急2	小児6		公衆衛生医師の役割と多職種協働	
	10:45	藤原病2 岸本福将 腎臓・リウマチ膠原病内科学	【救急】熱傷・災害 海田賢彦 救急医学	内分泌疾患・先天代謝異常 福原大介 小児科学		吉田正雄 衛生学公衆衛生学	
II	11:00	臨床総合演習 II (復習)	臨床総合演習 I	臨床総合演習 I		公衆衛生学16	
	5	内分泌・代謝病学3	形成外科1	小児7		社会と医療	
	12:15	副腎疾患 近藤琢磨 糖尿病・内分泌・代謝内科学	形成外科関連の試験問題と復習 多久嶋亮彦 形成外科学	新生児 細井健一郎 小児科学		吉田正雄 衛生学公衆衛生学	
III	13:15	公衆衛生学14	臨床総合演習 I	臨床総合演習 I		公衆衛生学17	
	5	分子予防医学	運動器2	医学総論1		疫学・人口の動向	
	14:30	木崎節子 衛生学公衆衛生学	脊髄・脊髄・神経学一般 細金直文 整形外科学	院内感染等 大荷 満生 消化器・一般外科学		荻田香苗 衛生学公衆衛生学	
IV	14:45	臨床総合演習 I		臨床総合演習 I		臨床総合演習 I	
	5	耳鼻咽喉科1 口腔・咽頭・喉頭疾患・ 頭頸部腫瘍		皮膚1 検査・症状・湿疹・皮膚炎・ 乾癬・水疱症・腫瘍症など		精神1 気分障害・医療面接	
	16:00	佐藤 大 耳鼻咽喉科学		木下美咲 皮膚科学		渡邊衛一郎 精神神経科学	

2022年度 M6 (第8週) 時間割表

9月20日(火)～9月22日(木)

時限	時間	9/19(月)	9/20(火)	9/21(水)	9/22(木)	9/23(金)	9/24(土)		
I	9:30	敬老の日	臨床総合演習Ⅰ 小児8 血液疾患、腫瘍	臨床総合演習Ⅰ 麻酔科学1 麻酔・疼痛管理	公衆衛生学18 産業保健Ⅱ (職業性疾患)	特別講義 (仮)	特別講義 (仮)		
	10:45		吉野 浩 小児科学	関 博志 麻酔科学	菊田香苗 衛生学公衆衛生学				
II	11:00		臨床総合演習Ⅰ 法医学1 診断書記入・異状死等における医師の対応	臨床総合演習Ⅰ 精神2 <small>現実性精神障害、依存と中毒、睡眠障害、児童思春期の精神障害</small>	公衆衛生学19 産業保健Ⅲ (産業中毒)			特別講義 (仮)	特別講義 (仮)
	12:15		山田真嗣 法医学	櫻井 準 精神神経科学	菊田香苗 衛生学公衆衛生学				
III	13:15	臨床総合演習Ⅰ 産科婦人科4 正常妊娠・分娩、妊娠の生理	臨床総合演習Ⅰ 精神3 統合失調症、心理・精神機能検査	特別講義 (仮)	特別講義 (仮)				
	14:30	田嶋 敦 産科婦人科学	坪井貴嗣 精神神経科学						
IV	14:45	敬老の日	臨床総合演習Ⅰ 産科婦人科5			臨床総合演習Ⅰ 産科婦人科5	特別講義 (仮)	特別講義 (仮)	
	16:00		卵巣腫瘍			卵巣腫瘍			
				松本浩範 産科婦人科学					

2022年度 M6 (第9週) 時間割表

9月26日(月)～9月30日(金)

時限	時間	9/26(月)	9/27(火)	9/28(水)	9/29(木)	9/30(金)	
I	9:30	臨床総合演習Ⅰ 皮膚2	臨床総合演習Ⅰ 産科婦人科6	臨床総合演習Ⅰ 救急3	臨床総合演習Ⅱ(復習) 呼吸器4	公衆衛生学23 地域保健、精神保健、関係法規(演習)	
	10:45	<small>国試における皮膚科学の位置付け、腫瘍・母斑、その他</small> 大山 学 皮膚科学	異常分娩(NRFS含む)と胎児の生理 竹森 聖 産科婦人科学	【救急】ショック・心肺蘇生・中毒 山口芳裕 救急医学	呼吸器感染症(復習編) 麻生純平 呼吸器内科学	岡本博照 衛生学公衆衛生学	
II	11:00	公衆衛生学20 医療経済	臨床総合演習Ⅱ(復習) 循環器5	臨床総合演習Ⅱ(復習) 呼吸器3 <small>呼吸器・甲状腺外科学(全般)</small>	臨床総合演習Ⅱ(復習) 呼吸器5	臨床総合演習Ⅱ(復習) 内分泌・代謝病学4	
	12:15	菅田慎一 衛生学公衆衛生学	心電図 佐藤俊明 循環器内科学		肺腫瘍 高田佐織 呼吸器内科学	甲状腺・副甲状腺疾患 石本麻衣 糖尿病・内分泌・代謝内科学	
III	13:15	公衆衛生学21 保健・医療・福祉の資源(地域・母子)	臨床総合演習Ⅱ(復習) 消化管1 【消化管】		臨床総合演習Ⅱ(復習) 呼吸器3	臨床総合演習Ⅱ(復習) 感染症1	公衆衛生学24 精神保健
	14:30	菊田香苗 衛生学公衆衛生学	竹内弘久 消化器・一般外科学		長島 鎮 呼吸器・甲状腺外科学	感染症全般 倉井大輔 総合医療学	松井知子 衛生学公衆衛生学
IV	14:45	公衆衛生学22 保健・医療・介護の資源(成人・老人)	臨床総合演習Ⅱ(復習) 呼吸器2	臨床総合演習Ⅱ(復習) 呼吸器3 <small>呼吸器・甲状腺外科学(全般)</small>	臨床総合演習Ⅱ(復習) 感染症1	公衆衛生学25 企業・学校での精神保健	
	16:00	菊田香苗 衛生学公衆衛生学	総論(復習編) 石田 学 呼吸器内科学			松井知子 衛生学公衆衛生学	

2022年度 M6 (第10週) 時間割表

10月3日(月)～10月7日(金)

時限	時間	10/3(月)	10/4(火)	10/5(水)	10/6(木)	10/7(金)
I	9:30		臨床総合演習 I 泌尿器1 症候 多武保光宏 泌尿器科学	臨床総合演習 I 模擬試験	臨床総合演習 I 模擬試験	公衆衛生学26 肥満・生活習慣病と運動効果 櫻井拓也 衛生学公衆衛生学
	10:45					
II	11:00	臨床総合演習 I 産科婦人科7 異常妊娠・合併症妊娠 小林千絵 産科婦人科学	臨床総合演習 I 泌尿器2 尿路閉塞 多武保光宏 泌尿器科学	臨床総合演習 I 模擬試験	臨床総合演習 I 模擬試験	公衆衛生学27 産業保健Ⅳ(産業医・飲酒問題)(特別講義) 角田 透 衛生学公衆衛生学
	12:15					
III	13:15	臨床総合演習 I 耳鼻咽喉科2 耳疾患 増田正次 耳鼻咽喉科学	臨床総合演習 II (復習) 消化管2 【肝・胆・膵】 鈴木 裕 消化器・一般外科学	臨床総合演習 I 模擬試験	臨床総合演習 I 模擬試験	公衆衛生学28 国民栄養・食品保健 武藤 剛 衛生学公衆衛生学
	14:30					
IV	14:45	臨床総合演習 I 小児1 小児外科関連問題解説 浮山越史 小児外科学	臨床総合演習 II (復習) 運動器1 診断学一般、 骨・軟部腫瘍 森井健司 整形外科	臨床総合演習 I 模擬試験 16:00以降も 引き続きの予定	臨床総合演習 I 模擬試験 16:00以降も 引き続きの予定	公衆衛生学29 栄養・休養と生活習慣病 武藤 剛 衛生学公衆衛生学
	16:00					

2022年度 M6 (第11週) 時間割表

10月11日(火)～10月14日(金)

時限	時間	10/10(月)	10/11(火)	10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)
I	9:30	体育の日				O S C E (仮)
	10:45					
II	11:00					
	12:15					
III	13:15					
	14:30					
IV	14:45					
	16:00					

2022年度 M6 (第12週) 時間割表

10月17日(月)～10月21日(金)

時限	時間	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)
I	9:30	臨床総合演習Ⅰ 小児9 奇形・染色体異常	公衆衛生学30 国民栄誉、国民医療費 (演習)	臨床総合演習Ⅰ 精神4 精神保健福祉法と そのほかの精神疾患	公衆衛生学32 母子保健(演習)	公衆衛生学33 産業保健・中毒(演習)
	10:45	麗 聖子 小児科学	菅田慎一 衛生学公衆衛生学	今村弥生 精神神経科学	櫻井拓也 衛生学公衆衛生学	苅田香苗 衛生学公衆衛生学
II	11:00	臨床総合演習Ⅰ 産科婦人科8 不妊症	公衆衛生学31 成人・高齢者保健 (演習)	臨床総合演習Ⅰ リハビリテーション1 主な疾患のリハビリテ ーションとその理念	臨床総合演習Ⅰ 耳鼻咽喉科3 鼻・副鼻腔疾患	公衆衛生学34 環境保健(演習)
	12:15	渡邊百恵 産科婦人科学	苅田香苗 衛生学公衆衛生学	山田 深 リハビリテーション医学	横井秀格 耳鼻咽喉科学	木崎節子 衛生学公衆衛生学
III	13:15	臨床総合演習Ⅱ(復習) 産科婦人科1 婦人科腫瘍	臨床総合演習Ⅱ(復習) 産科婦人科2 女性医学 (腫瘍を除く)	臨床総合演習Ⅱ(復習) 泌尿器1 最後に覚えておくこと は?	臨床総合演習Ⅱ(復習) 神経1 脳神経外科全般	臨床総合演習Ⅱ(復習) 産科婦人科3 正常妊娠、正常分娩
	14:30	小林陽一 産科婦人科学	片山紗弥 産科婦人科学	多武保光宏 泌尿器科学	丸山啓介 脳神経外科学	松島実穂 産科婦人科学
IV	14:45		臨床総合演習Ⅱ(復習) 耳鼻咽喉科1 耳鼻科全般			臨床総合演習Ⅱ(復習) 免疫・アレルギー3 膠原病3 川嶋聡子 腎臓・リウマチ膠原病内科学
	16:00		宮本 真 耳鼻咽喉科学			

2022年度 M6 (第13週) 時間割表

10月24日(月)～10月28日(金)

時限	時間	10/24(月)	10/25(火)	10/26(水)	10/27(木)	10/28(金)
I	9:30	臨床総合演習Ⅱ(復習) 小児1 成長・発達・アレルギー・内分泌疾患		臨床総合演習Ⅰ 病理1 呼吸器疾患の病理診断	臨床総合演習Ⅰ 眼科2 眼の解剖、生理、 視機能検査	
	10:45	成田雅美 小児科学		藤原正親 病理学	松木奈央子 眼科学	
II	11:00	公衆衛生学35 必修の基本的事項、保健 医療論、国際保健(演 習)		臨床総合演習Ⅰ 病理2 腎泌尿器疾患の病理診断	臨床総合演習Ⅰ 眼科3 前眼部疾患・ 後眼部疾患2	臨床総合演習Ⅱ(復習) 社会医学2 問題演習Ⅱ
	12:15	吉田正雄 衛生学公衆衛生学		長清清隆 病理学	松木奈央子 眼科学	苅田香苗 衛生学公衆衛生学
III	13:15	公衆衛生学36 死と終末期ケア、学校保 健(演習)		臨床総合演習Ⅰ 病理3 消化器疾患の病理診断	臨床総合演習Ⅱ(復習) 社会医学1 問題演習Ⅰ	臨床総合演習Ⅱ(復習) 小児2 先天性心疾患・新生児・神 経疾患・発達障害 細井健一郎 小児科学
	14:30	吉田正雄 衛生学公衆衛生学		柴原純二 病理学	吉田正雄 衛生学公衆衛生学	
IV	14:45	公衆衛生学37 食中毒および有害動物に よる疾患(演習)		臨床総合演習Ⅰ 皮膚3 紅斑・紫斑、 感染症、薬疹	臨床総合演習Ⅱ(復習) 感染症2 感染症全般	臨床総合演習Ⅱ(復習) 小児3 血液疾患、腫瘍、 感染症、予防接種 吉野 浩
	16:00	吉田正雄 衛生学公衆衛生学		倉田麻衣子 皮膚科学	倉井大輔 総合医療学	小児科学

2022年度 M6 (第14週) 時間割表

10月31日(月)～11月4日(金)

時限	時間	10/31(月)	11/1(火)	11/2(水)	11/3(木)	11/4(金)
I	9:30	公衆衛生学38	公衆衛生学40	臨床総合演習Ⅱ(復習)	文化の日	医師国家試験説明会(仮)
	5	疫学とその応用(演習)	感染症対策(演習)	精神1		
	10:45	照屋浩司 保健学部	苅田香苗 衛生学公衆衛生学	精神医学全般 渡邊衛一郎 精神神経科学		
II	11:00	公衆衛生学39	公衆衛生学41	臨床総合演習Ⅱ(復習)		
	5	疫学・保健統計(演習)	前半/統計総復習 後半/試験	産科婦人科4 妊娠・分娩の異常		
	12:15	照屋浩司 保健学部	苅田香苗 衛生学公衆衛生学	北村垂也 産科婦人科学		
III	13:15	臨床総合演習Ⅰ		臨床総合演習Ⅱ(復習)		
	5	小児2		呼吸器6		
	14:30	小児外科関連問題解説 浮山越史 小児外科学		呼吸器・甲状腺外科学(全般) 長島 鎮 呼吸器・甲状腺外科学		
IV	14:45	臨床総合演習Ⅱ(復習)		臨床総合演習Ⅱ(復習)		
	5	小児1		眼科1		
	16:00	小児外科関連問題解説 浮山越史 小児外科学		前眼部疾患・後眼部疾患 慶野 博 眼科学		

※ 11/29(火) 一般総論・公衆衛生対策講義(仮)

11/30(水) 必修対策講義(仮)

学 科 目： 公衆衛生学
科目責任者： 荻田香苗 教授
担当教員： 教 授 荻田香苗
 准 教 授 吉田正雄
 講 師 櫻井拓也
 学 内 講 師 荻田慎一
 兼 担 教 授 照屋浩司（保健学部）
 兼 担 准 教 授 岡本博照（保健学部）
 客 員 教 授 木崎節子
 非常勤講師 松井知子、武藤 剛
 その他の担当教員は講義予定表に記載

A. 教育の基本方針

公衆衛生学は、人々の健康の維持・増進と生活の質の向上を目指す実践の学問であるため、健康状態に影響するライフスタイル、生活環境、社会状況、人口統計等の各因子を分析し評価する方法を教授する。健康課題の解決のために必要な保健医療制度、医療経済、社会保障・社会福祉に係わる知識を身に付け、個人あるいは地域・職域において健康を維持し疾病を予防する方策を修得する。さらに、予防医学活動と地域保健活動の意義と重要性について、国際的視野に立って認識を深めることを目指す。

B. 到達目標

人の健康に関する状況と生活環境を学び、健康増進・疾患予防における公衆衛生学の役割とその活用についての考え方を習得する。保健医療活動を行う上で必要とされる諸法規の種類とその基本的内容、疫学の意義と方法論を把握するとともに、各種医療専門職の役割を説明できるようにする。予防医学、臨床医学、福祉活動の相互関連性を理解した上で、望ましい社会制度や地域保健活動ならびにグローバルな保健医療活動を追究する視点と能力を養うことを目標とする。

C. 修得すべき能力

1. 集団の健康増進・疾病予防に有用な公衆衛生的事象や概念について説明できる。
2. わが国の保健・医療・福祉・介護の現状と問題点を述べることができる。
3. わが国の保健・医療・福祉・介護における対策・制度を説明

できる。

4. 公衆衛生関連の統計を収集し分析する能力を身につける。
5. 公衆衛生上の課題を解決に導くための基本的態度・習慣・考え方を身につける。

D. 学習内容

本学年では、主に下記の各課題を主軸とした系統講義を実施する。
講義課題：「公衆衛生総論」「感染症」「国民栄養・食品保健」「地域保健」「成人保健」「高齢者・障害者保健」「精神保健」「母子保健」「学校保健」「国際保健」「環境保健」「産業保健」「疫学」「人口・保健統計」「医療経済」「医の倫理」「死と終末期ケア」「医療関係法規」

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得た上で、これに目を通しておくこと（各テーマにつき1時間程度）。また新聞を毎日読む習慣を付け、公衆衛生関連のトピックスや統計の記事に注意すること。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや例題・演習問題の解答と教科書・資料の関連ページを熟読して復習すること（各1時間程度）。

H. 成績評価の方法・基準

1. 試験の方針

履習内容をいかに完全に自分のものとして理解しているかを知るために、講義最終日に試験を実施する。受験資格は講義コマ数の2/3以上に遅刻せずに出席した者とする。

2. 試験の期日と実施方法

期日：2022年11月1日（火）（予定）

方法：試験は講義最終日にマークシート使用による選択式テストを実施する。試験は、模範解答・点数をもって、フィードバックする。再試験は、口頭試問を実施する場合もある。

3. 評価法
評価に当たっては、試験の得点のみにとどまらず、出席状況と講義・演習の履習態度も加味する。
4. 判定基準
合否の境界線は 60 点とする。

I. 学習指導書

1. 教科書
 - 1) New Simple Step 公衆衛生 高橋茂樹、西 基著 第 1 版
総合医学社 2020 ISBN 978-4-88378-718-0 6,000 円
 2. 参考書 A (学生の所持をすすめるもの)
 - (R) 1) 厚生統計協会 「国民衛生の動向」2021/2022 (2022/2023 年版は 8 月末～9 月初め頃に出版される) 2,450 円
 - (R) 2) 岸 玲子、古野純典、大前和幸、小泉昭夫 編
「NEW 予防医学・公衆衛生学」改訂第 4 版 南江堂 2018
 3. 参考書 B (図書館等での利用をすすめるもの)
 - (A) 1) 高島 豊 編著 「疫学の理論と実践」杏林書院 2007
 - (A) 2) レオン・ゴルディス著、木原正博訳「疫学-医学研究と実践のサイエンス」メディカル・サイエンス・インターナショナル 2010
 - (A) 3) Detels R : Oxford textbook of Public Health (6ed.), Oxford University press 2015
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/29	月	1	公衆衛生総論・健康教育	健康や予防医学の概念と公衆衛生学の重要用語を説明する。また、健康教育の理論と手法について、例として喫煙問題を取り上げ、健康維持のための行動モデル理論等についての概略を学ぶ。KW=健康増進、健康教育、保健行動モデル、行動変容、ニコチン依存症、受動喫煙、禁煙対策	荻田香苗	2-17
8/29	月	2	感染症の動向と予防	公衆衛生活動としての感染症対策の歴史を学ぶとともに、予防接種および感染症拡大防止策の現状、主な感染症の届出患者数の推移とその背景を理解する。KW=感染源・感染経路対策、感染症法、検疫、新興・再興感染症、予防接種、標準予防策、結核対策、感染経路別予防対策	荻田香苗	246-274
9/1	木	3	医の倫理、医師の任務	患者の人権と医の倫理に関する規定、インフォームドコンセント、患者の権利に関して理解する。KW=ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、医療過誤と医療事故、ヒヤリハット	吉田正雄	395-405
9/2	金	2	医療関係法規	医師法および医療関連法規に関して理解する。KW=医師法、医師の届出義務、医療法、刑法、麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法、母体保護法、精神保健福祉法、感染症法、食品衛生法	吉田正雄	139-160
9/5	月	1	社会保障制度と障害者福祉	わが国の社会保障の概念、社会保障制度、社会保険、医療保険制度について講義する。KW=社会保障制度、社会保険、医療保障制度、医療保険、公的医療、国民皆保険、現物給付、社会保険方式、国際生活機能分類、リハビリテーション、ノーマライゼーション、障害者基本法、障害者自立支援法	岡本博照	97-112 227-234
9/5	月	2	人口保健統計	集団の健康指標とわが国の最近の値を知り、わが国の公衆衛生の特徴と課題について保健統計を用いて考える。KW=人口動態統計、人口動態統計、国民生活基礎調査、患者調査、受療率、合計特殊出生率、平均余命、人口ピラミッド	岡本博照	64-96
9/5	月	3	環境保健 I	空気の化学的的正常成分と働き、代表的温熱指標とその測定法、上下水道の仕組み、水質基準、廃棄物管理について学ぶ。KW=環境と適応、生態系と生物濃縮、浄水法と消毒、廃棄物処理、居住・衣服環境	荻田香苗	351-378

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/5	月	4	環境保健Ⅱ	環境汚染および公害の発生要因と現状について学習し、地球環境問題と健康・社会への影響を考える。KW=大気・水質・土壌汚染、公害健康被害、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、環境基準、排出規制、環境影響評価	荻田香苗	351-378
9/6	火	2	産業保健Ⅰ (労働衛生行政)	労働衛生行政の仕組み、労働衛生統計の動向、産業保健の主な関連法規について学ぶ。KW=労働衛生行政、労働基準監督署、労働災害、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、じん肺法	荻田慎一	306-350
9/9	金	1	医療面接	実際の医療面接のケースを数多く例示し、会話を通じて診断に必要な情報を収集し、良好な医師-患者関係の確立するための医療面接の進め方について理解する。KW=患者医師関係、言語的・非言語的コミュニケーション、解釈モデル、パターナリズム	吉田正雄	395-405
9/9	金	2	医療面接	実際の医療面接のケースを数多く例示し、会話を通じて診断に必要な情報を収集し、良好な医師-患者関係の確立するための医療面接の進め方について理解する。KW=患者医師関係、言語的・非言語的コミュニケーション、解釈モデル、パターナリズム	吉田正雄	395-405
9/9	金	3	感染症法と感染症の疫学 (特別講義)	感染症法の内容を解説し、感染症が社会に与えてきた影響を歴史的に考察し、現代の感染症疫学についても現状を把握し、課題を考える。理解のため演習問題を配布し、時間をおいて正解も配布する。また、現在、社会生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症と世界三大感染症の一つで、守秘と人権擁護が最も厳しく求められるAIDSについて、特に詳しく説明し、両疾患の社会医学的課題を理解することも目的とする。	鎌倉光宏	246-274

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/9	金	4	感染症法と感染症の疫学 (特別講義)	感染症法の内容を解説し、感染症が社会に与えてきた影響を歴史的に考察し、現代の感染症疫学についても現状を把握し、課題を考える。理解のため演習問題を配布し、時間をおいて正解も配布する。また、現在、社会生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症と世界三大感染症の一つで、守秘と人権擁護が最も厳しく求められるAIDSについて、特に詳しく説明し、両疾患の社会医学的課題を理解することも目的とする。	鎌倉光宏	246-274
9/12	月	3	分子予防医学	遺伝子と疾病との関係を理解し、分子生物学の進歩により可能になった難病や生活習慣病に対する遺伝子診断、遺伝子治療について学ぶとともに、倫理的な問題点を考える。KW=遺伝子疾患、遺伝子診断、遺伝子治療	木崎節子	395-405
9/16	金	1	公衆衛生医師の役割と多職種協働	保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携、医学研究と倫理、臨床試験・治験と倫理性について論じる。KW=地域包括支援センター、連携とチーム医療、PT、OT、ST、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、臨床心理士	吉田正雄	113-138 202-226
9/16	金	2	社会と医療	患者・障害者のもつ心理・社会的問題について論じる。KW=国際生活機能分類、機能障害、活動制限、参加制約、リハビリテーション、QOL、ADL、IADL、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、在宅医療、訪問看護、在宅介護、在宅リハビリテーション	吉田正雄	2-17 113-138 202-226
9/16	金	3	疫学・人口の動向	疫学概念と方法、基本的な指標について学び、因果関係の考え方を理解する。「国民衛生の動向」の関連資料を基にわが国の人口・厚生統計に関する知識を深める。KW=記述疫学、分析疫学、標本の抽出、無作為化、介入、精度と正確度、人口指数、国勢調査、出生・疾病・死因統計	荻田香苗	18-96
9/22	木	1	産業保健Ⅱ (職業性疾患)	産業現場での主な職業病について、その主要症状、発現場、検査および治療法を学習し、各種予防対策について理解する。KW=物理的環境因子、熱中症、減圧症、職業癌、塵肺、振動障害、放射線障害、職業性難聴	荻田香苗	306-350

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/22	木	2	産業保健Ⅲ (産業中毒)	主な有機溶剤、有機化合物、金属、ガスによる中毒について、その健康影響と診察・検査方法を学ぶ。KW=有機溶剤中毒、金属中毒、ガス中毒、農薬中毒、職業性喘息、アレルギー性接触皮膚炎、酸素欠乏症	荻田香苗	306-350
9/26	月	2	医療経済	わが国の国民医療費、医療費の内訳、医療費の増加のほか、医療経済について講義する。KW=国民医療費、後期高齢者医療制度、公費医療	荻田慎一	97-112
9/26	月	3	保健・医療・福祉の資源(地域・母子)	わが国の地域保健活動の組織と連携、保健所・市町村保健センター・児童相談所等の役割、および母子保健の現状と動向、母子保健制度、関連指標・統計、健やか親子21、少子化対策について、演習形式で理解を深める。	荻田香苗	113-138 174-195
9/26	月	4	保健・医療・介護の資源(成人・老人)	わが国の成人と高齢者における保健・医療の施策、生活習慣病のリスク要因と予防、老人保健・介護保険制度のシステム、保健・医療・介護にかかわる各施設と機能およびその問題点について、演習形式で理解を深める。	荻田香苗	196-226
9/30	金	1	地域保健、精神保健、関係法規(演習)	地域保健と精神保健分野のほか、関係法規(医師法、医療法、地域保健法など)の復習を行う。	岡本博照	113-160 235-245
9/30	金	3	精神保健	わが国の精神保健制度について、関連法規、精神保健福祉に関する医療費と統計等に基づき、理解する。さらに社会復帰や地域精神保健活動への展開について講義する。KW=精神保健福祉法、入院形態、精神障害者社会復帰施設、精神科デイケア、自殺対策基本法	松井知子	235-245
9/30	金	4	企業・学校での精神保健	企業内精神保健マネジメントに関するフレームワーク、および児童・生徒のメンタルヘルスの問題と対応、教師のメンタルヘルスの問題などについて講義する。KW=産業精神保健、メンタルヘルス、職場復帰支援、EAP、スクールカウンセリング、発達障害、学習障害、うつ病	松井知子	295-305 306-320

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/7	金	1	肥満・生活習慣病と運動効果	大きな社会問題となっている肥満者や生活習慣病患者の増加について最新のデータを交えながら解説する。さらに、肥満・生活習慣病の予防・改善に対する運動などの効果や我が国の取り組みについて学ぶ。KW=生活習慣病、運動	櫻井拓也	196-201 275-294
10/7	金	2	産業保健Ⅳ（産業医・飲酒問題）（特別講義）	産業医の制度と役割、産業保健の三管理、健康診断の制度などについて学ぶ。さらには、精神保健・生活習慣病・産業保健などの多角的観点から飲酒問題についても取り上げる。KW=労働安全衛生法、産業医、作業環境管理、作業管理、健康管理、定期健康診断、特殊健康診断、許容濃度、バイオロジカルモニタリング、生活習慣病、アルコール依存症、EAP、断酒会	角田 透	2-17 306-350
10/7	金	3	国民栄養・食品保健	厚生労働省が毎年、実施・公表している国民健康・栄養調査を基に栄養素等摂取量等の推移と疾病構造の変化との関連について考える。また、健康の保持増進、疾病の予防・治療・回復などに必要不可欠な「食」の安全の確保に関する施策について学ぶ。	武藤 剛	275-294
10/7	金	4	栄養・休養と生活習慣病	生活習慣と関連の深い疾病について学び、栄養管理や生活改善の方法と指針を理解する。疾病の背景にあるヒトや集団の行動を、心理社会的側面を含めた観点で理解する。KW=行動医学、食事指導、重症化予防、職場復帰支援、睡眠障害、ストレス対策	武藤 剛	196-201 275-294
10/18	火	1	国民栄養、国民医療費（演習）	国民健康・栄養調査の現状と動向、国民医療費の現状と動向について演習と解説する。	荻田慎一	97-112 275-294
10/18	火	2	成人・高齢者保健（演習）	生活習慣病のリスク要因、生活習慣病対策、喫煙・飲酒、一次・二次・三次予防、健康診断、健康日本21、ゴールドプラン21、介護保険法、老年人口、認知症性高齢者、ねたきり老人、日常生活動作（ADL）、在宅ケア、施設ケアについて演習と解説を行う。	荻田香苗	2-17 196-201 202-226
10/20	木	1	母子保健（演習）	母子保健の統計、母子健康手帳、健康診査、新生児マス・スクリーニング、母子健法、母体保護法、周産期死亡、妊産婦死亡について解説する。KW=母子保健の統計、母子健法、母体保護法	櫻井拓也	174-195

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/21	金	1	産業保健・中毒 (演習)	労働安全衛生法、業務上疾病の発生状況、産業医の資格と職務、健康管理・作業環境管理・作業管理、生物学的モニタリング、許容濃度、労働災害、トータルヘルスプロモーションプラン(THP)、金毒中毒、有機溶剤中毒、ガス中毒、酸素欠乏症、農薬中毒、職業癌、じん肺、職業性腰痛、頸肩腕障害、騒音性障害、振動障害、減圧症、熱中症、電離放射線障害、紫外線障害、VDI障害について演習と解説を行う。	菊田香苗	306-350
10/21	金	2	環境保健 (演習)	地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、水質基準、公害、環境基準、ダイオキシン、廃棄物処理、放射線の健康障害と基準、屋内環境、シックハウス症候群について解説する。	木崎節子	351-378
10/24	月	2	必修の基本的事項、保健医療論、国際保健 (演習)	医のプロフェッショナルリズム、社会と医療、診療情報と諸証明書、医療の質と安全、医療面接、死と終末期ケア、多職種連携とチーム医療、健康・疾病・障害の概念、医事、薬事、アルマ・アタ宣言、オワタ憲章、バンコク憲章、UN、WHO、ILO、WFP、FAO、UNICEF、UNESCO、UNHCR、ODA、JICA、NGOについて解説する。	吉田正雄	119-127 139-160 167-171 202-226 379-405
10/24	月	3	死と終末期ケア、学校保健 (演習)	・ホスピス・緩和ケアの理念、死に至る心の過程に関して理解する。KW=緩和ケアの概念、緩和ケアチーム、ホスピス、全人的苦痛(トータルペイン)、死にゆく過程の5段階説、尊厳死、リビングウィル、安楽死 ・学校保健関連法規、学校医と保健管理、学齢期の疾病と学校管理下での死亡の推移と現状について学ぶ。KW=学校保健安全法、学齢期の好発疾患と予防、学校医の職務、養護教諭、健康診断、学校における感染症の予防、学校における出席停止	吉田正雄	295-305 379-394
10/24	月	4	食中毒および病害動物による疾患 (演習)	食中毒および病害動物による疾患における症状、治療、予後とその予防対策について理解する。KW=食品衛生法、食中毒統計、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒、化学性食中毒、フグ毒、毒キノコ、カビ毒、ハチ毒、ヘビ毒	吉田正雄	275-294

2022年度 6年 講義予定表

【公衆衛生学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/31	月	1	疫学とその応用 (演習)	Evidence Based Medicine (EBM) の概要や、疫学指標、研究手法について解説する。KW: EBM、バイアス、無作為比較対照試験、コホート研究、症例対照研究、相対危険度、オッズ比	照屋浩司	18-63
10/31	月	2	疫学・保健統計 (演習)	スクリーニング検査、コホート研究、症例対照研究、リスクの算出、調整、オッズ比、標準化死亡率、EBM、検査前確率、検査後確率、ROC曲線、人口動態統計、国民生活基礎調査、患者調査、疾病統計、国際疾病分類(ICD10)、合計特殊出生率、総再生産率、純再生産率、粗死亡率、年齢調整死亡率、標準化死亡率 (SMR) について解説する。	照屋浩司	18-96
11/1	火	1	感染症対策 (演習)	主要感染症の疫学、感染源・感染経路対策、感染症法、1～5類感染症、指定感染症、検疫感染症、新興・再興感染症、結核、DOTS、予防接種、母子感染症、感染症サーベイランス、院内感染症、標準予防策について演習と解説を行う。	荻田香苗	246-274
11/1	火	2	前半：統計総復習 後半：試験	前半は疫学・統計の総復習を行う。 後半は試験を実施する（試験範囲は公衆衛生学すべての講義分野とする）。	荻田香苗	配布資料 (18-96)

臨床総合演習

I・II（復習）

学 科 目：臨床総合演習
科目責任者：教務部長 柴原純二

- A. 教育の基本方針
最終学年を迎え、卒後臨床研修を見据えた総仕上げを行う。
- B. 到達目標
医学部での学習の総まとめを行う。特に、臨床研修への橋渡しとなるべく、卒後、医師として臨床現場に第一歩を踏み出すにあたって必要とされる基本的な医学的知識の確実な習得を目標とする。
- C. 修得すべき能力
臨床課題について、医学部で学んだ知識と学習方法を応用して、解決する能力を身につける。
- D. 学習内容
各主題目の頁を参照すること。
- E. 実習・課外授業
1. 実習 なし
2. 課外授業 なし
- F. 準備学習の内容
各主題目の頁を参照すること。
- G. 復習学習の内容
各主題目の頁を参照すること。
- H. 成績評価の方法・基準
総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。
臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。
- I. 学習指導書
各主題目の頁を参照すること。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 呼吸器（呼吸器内科学）
主 題 目 責 任 者： 石井晴之 教授
担 当 教 員： 教 授 石井晴之
 准教授 皿谷 健
 その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

呼吸器病学について M6 として必要な知識の習得と応用

B. 到達目標

呼吸器病学において必要な医療倫理、知識、問題解決能力を身につける。

呼吸器病学の系統的理解を整理する。また問診や診察法なども含めた内科診断学の知識や技能を習得して、診断アプローチを行うことができる。

C. 修得すべき能力

1. 呼吸器病学において必要な病態知識（解剖、生理、病理）を習得し、説明することができる。
2. 適切な問診を収集するためのコミュニケーション能力を身につけ、診断アプローチのための鑑別診断を適確に列挙することができる。
3. 基本的な医療倫理を理解し、課題の問題解決能力を習得する。

D. 学習内容

問題解説と演習

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義

内容」を読み、教科書に目を通しておく。各1時間程度

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。各1時間程度

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

呼吸器診療 ANDS BOOK（中外医学社）

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 朝倉書店：内科学、中山書店：内科学書など

(R) 新臨床内科学、医学書院

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) Fraser: Diagnosis of diseases of the chest

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【呼吸器（呼吸器内科学）】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	4	呼吸器感染症	肺炎の成立（浸潤影、気管支透亮像）、細菌性肺炎、非定型肺炎、ニューモシスチス肺炎、真菌性肺炎、重症急性呼吸器症候群、肺抗酸菌症として重要な肺結核と非結核性抗酸菌症について呼吸器からみた視点で解説する。	皿谷 健	呼吸器診療 ANDS BOOK p236-282
4/15	金	2	閉塞性肺疾患（COPD、喘息、など）	慢性閉塞性肺疾患COPDおよび気管支喘息の概念、診断と治療について学ぶ。びまん性汎細気管支炎DPB、気管支拡張症、換気異常などについても概説する。	田村仁樹	呼吸器診療 ANDS BOOK p312-341、 p384-392
4/18	月	1	拘束性肺疾患	肺線維症・間質性肺炎の病態、肺の実質、間質とは何処かを把握して、その概念を学ぶ。さらに間質性肺炎の分類、主要疾患である特発性間質性肺炎と二次性間質性肺疾患について学ぶ。	石井晴之	呼吸器診療 ANDS BOOK p283-293、 p302-310、 434-443

【呼吸器（呼吸器内科学）】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/31	水	3	閉塞性肺疾患（COPD、喘息、など）（復習編）	慢性閉塞性肺疾患COPDと気管支喘息の概念、診断と治療について学ぶ。びまん性汎細気管支炎DPB、気管支拡張症、換気異常などについても概説する。	布川寛樹	呼吸器診療 ANDS BOOK p312-341、 p384-392
9/27	火	4	総論（復習編）	呼吸総論の中で特に注意事項を中心に演習を行う	石田 学	呼吸器診療 ANDS BOOK p28-99、 p102-199
9/29	木	1	呼吸器感染症（復習編）	細菌性肺炎、非定型肺炎、ニューモシスチス肺炎、肺抗酸菌症などで注意すべき事項を中心に演習を行う。	麻生純平	呼吸器診療 ANDS BOOK p236-282、 p384-392、 p424-433
9/29	木	2	肺腫瘍	原発性肺癌の臨床症状、組織学的分類（非小細胞肺癌、小細胞肺癌）とそれぞれの特徴、診断、腫瘍随伴症候群、病期診断、治療の選択などについて概説する。	高田佐織	呼吸器診療 ANDS BOOK p342-363、 p411-423、 p454-481

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 呼吸器（呼吸器・甲状腺外科学）
主 題 目 責 任 者： 安樂真樹 教授
担 当 教 員： 教 授 近藤晴彦、平野浩一、安樂真樹
准 教 授 田中良太
講 師 橘 啓盛
学内講師 長島 鎮、須田一晴

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

一般臨床医に求められる各疾患の重要点を整理し、医師として必要な外科の知識を修得する。

B. 到達目標

呼吸器・甲状腺外科学から医師の社会的責任を認識する。呼吸器・甲状腺疾患の主要な症候（症状）から疾患の鑑別診断、画像診断、診断手技について学ぶ。内科的治療を含めて治療法の選択ができること。さらに外科治療の適応、その結果の予測まで述べるができる。修得した医学的知識を駆使し、問題解決能力やリサーチマインドコミュニケーション能力を養う。

C. 修得すべき能力

①すでに学習・修得した呼吸器・甲状腺領域の知識を活用し、実践できるようにする（医療面接・身体診察から検査計画や治療方針の立案ができる）。

②呼吸器・甲状腺領域での重要な疾患を理解する。

D. 学習内容

臨床研修で必要とされる知識を踏まえて、各種疾患の初診から治療までを系統的に講義する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

呼吸器外科の過去の講義内容を復習し、更に臨床実習で学んだ臨床的な医学的知識を整理しておくこと。1時間程度。

G. 復習学習の内容

呼吸器外科の過去の演習問題、試験問題の結果を踏まえ、弱点の補習を中心にを行い、効率的な知識の習得を目指す。講義で示された重要事項や既出国家試験問題を繰り返し復習し、学習内容を確実なものとする。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準外科学 第15版（北野正剛監修） 医学書院
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
特になし
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
特になし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【呼吸器（呼吸器・甲状腺外科学）】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/8	金	2	呼吸器・甲状腺外科学（全般）	原発性肺癌、自然気胸、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、転移性肺腫瘍などの疾患は修得必須である。国家試験の過去問題を参考に、各疾患のポイントを総合的に復習する。	長島 鎮	指定なし 国家試験 過去問集等

【呼吸器（呼吸器・甲状腺外科学）】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/28	水	3	呼吸器・甲状腺外科学（全般）	呼吸器・甲状腺外科の過去の演習問題、試験問題の結果を踏まえ、弱点の補習を中心に行う。	長島 鎮	指定なし 国家試験 過去問集等
11/2	水	3	呼吸器・甲状腺外科学（全般）	呼吸器・甲状腺外科の過去の演習問題、試験問題の結果を踏まえ、弱点の補習を中心に行う。	長島 鎮	指定なし 国家試験 過去問集等

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 神経（脳神経内科学・脳卒中医学）
主 題 目 責 任 者： 千葉厚郎 教授
担 当 教 員： 教 授 千葉厚郎
 教 授 平野照之
 教 授 市川弥生子

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

過去の試験問題の演習を通して、神経系の構造・機能についての基本知識を整理・確認し、その上で神経疾患の病態・治療の基本を理解する。

B. 到達目標

脳・神経系に関して、臨床研修に必要な水準の能力を修得する。脳・神経系の構造と機能を理解し、病歴および神経所見から鑑別診断を考え、問題解決ができる能力を身につける。病態生理、画像所見について適確に説明でき、主要神経疾患の治療法を説明できる。

C. 修得すべき能力

- 1) 神経系の正常の構造と機能を説明出来る。
- 2) 主要疾患の病態生理と自然歴を説明出来る。
- 3) 薬物治療の原則と、個々の薬物の作用を説明出来る。
- 4) 主要疾患の治療法を説明出来る。
- 5) 病歴と神経所見から鑑別診断を考え、神経学的論理によって問題解決が出来る。

D. 学習内容

臨床研修で求められる能力を念頭に置いた演習を通して主要疾患の重要事項の復習をおこなう。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、対象となっている分野について教科書やM3脳神経内科学・脳卒中医学講義プリントを復習しておくこと。1時間程度

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および参考書の関連ページを熟読して復習すること。各1時間程度

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

講義プリント

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 病気がみえる vol.7 脳・神経 医療情報科学研究所 最新版

(R) 神田隆 医学生・研修医のための神経内科学 中外医学社

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) 田崎義昭 ベッドサイドの神経の診かた 南山堂

(A) 水野美邦 神経内科ハンドブック 第5版 医学書院

(A) 豊田一則 脳梗塞診療読本 第3版 中外医学社

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【神経(脳神経内科学・脳卒中医学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/5	火	2	筋疾患・末梢神経障害・脊髄疾患	問題演習・重要事項の復習：筋ジストロフィー、周期性四肢麻痺、遺伝性運動感覚性ニューロパチー、家族性アミロイドニューロパチー、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、脊髄空洞症、前脊髄動脈症候群、など	市川弥生子	プリント配布
4/8	金	1	脳血管障害	問題演習・重要事項の復習：脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、くも膜下出血、もやもや病、アミロイドアンギオパチー、頸動脈狭窄症、高血圧性脳症、など	平野照之	プリント配布
4/14	木	4	変性、代謝・中毒、感染、脱髄・炎症	問題演習・重要事項の復習：パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、ウイルソン病、ウエルニッケ脳症、CO中毒、髄膜炎、脳炎、HTLV-I関連脊髄症、多発性硬化症など	千葉厚郎	プリント配布

【神経(脳神経内科学・脳卒中医学)】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/24	水	3	筋疾患・末梢神経障害・脊髄疾患	問題演習・重要事項の復習：筋ジストロフィー、周期性四肢麻痺、遺伝性運動感覚性ニューロパチー、家族性アミロイドニューロパチー、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、脊髄空洞症、前脊髄動脈症候群、など	市川弥生子	プリント配布
8/31	水	4	変性、代謝・中毒、感染、脱髄・炎症	問題演習・重要事項の復習：パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、ウイルソン病、ウエルニッケ脳症、CO中毒、髄膜炎、脳炎、HTLV-I関連脊髄症、多発性硬化症など (演習Ⅰの反復により、記憶への定着を図る)	千葉厚郎	プリント配布
9/2	金	3	脳血管障害	問題演習・重要事項の復習：脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、脳動脈瘤、脳血管障害と医療福祉制度、など	平野照之	プリント配布

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 神経（脳神経外科学）
主題目責任者： 塩川芳昭 教授
担 当 教 員： 教 授 塩川芳昭、中富浩文
講 師 丸山啓介

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

M4～M5で学んだことを前提に、脳神経外科学における各種疾患の病態・治療について再確認するように講義する。

B. 到達目標

医師として脳神経外科学的疾患への適切な対応が可能な能力を身につける。同時に医師としてふさわしい価値観、倫理、態度や臨床技能と問題解決能力を養う。

M4臨床医学講義とBSLで習得した知識を復習し、合わせて問題演習を行なう。学習した事項を整理し、正確に理解出来ている事を確認する。

C. 修得すべき能力

1. 脳神経外科学的疾患を正しく整理、理解し、その概略を説明できる。
2. 脳神経外科学総論・各論の概略を説明できる。
3. 脳神経外科の外科的処置の適応判断・基本的なリスク評価ができる。

D. 学習内容

表に示した通り

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

講義テーマ、講義内容を読み、教科書、参考書、及び、M4臨床

医学講義で学習した資料、M5 BSL で作成したレポートなどを予め復習しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して、関連事項も復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準脳神経外科学（第15版） 医学書院（教科書）
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(A)脳神経外科学（第13版） 金芳堂
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(R)脳神経外科臨床マニュアル 第5版 丸善出版
(A)グリーンバーグ 脳神経外科ハンドブック 第6版 金芳堂

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【神経(脳神経外科学)】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/6	水	4	脳神経外科総論、頭部外傷ほか	脳神経外科総論を復習し、総論および頭部外傷についての病態・治療について再確認するように講義する。臨床医学講義とBSLで習得した知識を正しく整理、理解する。	塩川芳昭	2-161、214-323
4/11	月	3	脳腫瘍・脳血管障害	脳神経外科総論を復習し、脳腫瘍および脳血管障害についての病態・治療について再確認するように講義する。臨床医学講義とBSLで習得した知識を正しく整理、理解する。	中富浩文	162-213

【神経(脳神経外科学)】臨床総合演習 II (復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/20	木	3	脳神経外科学全般	過去の試験問題 (過去5～10年分)の中から標準的問題を抽出し、一問一答形式での問題演習を行なう。	丸山啓介	2-323

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 腎臓病学
主 題 目 責 任 者： 要 伸也 教授
担 当 教 員： 教 授 要 伸也
講 師 福岡利仁、川上貴久

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

腎臓病について病態を正確に把握し、それに基づいた臨床診断・治療を修得することを目的とする。

B. 到達目標

医師の素養として必須である価値観、倫理、態度の習得を完成させる。医師となるために必要な知識・能力のうち、主要な腎疾患に関する医学的知識と基本的な臨床問題解決能力を身につける。腎臓病について復習し、総論・各論の要点を理解できていることを確認し、あわせて演習を行なう。これまで学習した事項を整理し、正確に理解できるようにする。

C. 修得すべき能力

1. 基本的な腎生理を理解し、水電解質・酸塩基異常、高血圧疾患に関する臨床的課題を解決できる。
2. 腎臓病各疾患の特徴と症状、検査法、診断、治療法を理解し、基本的な臨床的課題を解決できる。
3. CKD と AKI の概念と重症度分類、症候と治療法（透析療法も含む）について理解している。

D. 学習内容

一次性及び二次性腎疾患、腎不全、水電解質異常、高血圧疾患、透析・血液浄化療法

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、過去の臨床医学講義の資料、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
新臨床内科学 第10版 矢崎義雄監修 医学書院
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）：下記のいずれか
(R) 杉本恒明、他編 内科学 朝倉書店
(R) 小川 聡編 内科学書 中山書店
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) ハリソン内科学 第4版 福井次矢・黒川清 日本語版
監修

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【腎臓病学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/4	月	2	腎臓内科1 主要症候、腎機能検査、水電解質・酸塩基・尿細管機能異常、高血圧・腎循環障害	基本的な主要症候と腎機能検査を理解し、さまざまな電解質・酸塩基平衡の異常、Bartter症候群、Gitelman症候群などの尿細管機能異常について、その病態、鑑別診断、対処法を復習する。高血圧・腎循環障害についてもここで触れる。	要 伸也	1125-1128, 1130-1151, 1228-1235, 407-416
4/5	火	3	腎臓内科2 一次性・二次性腎疾患、間質性腎炎、尿検査	IgA腎症、膜性腎症などの一次性糸球体疾患、糖尿病性腎症、腎硬化症、ループス腎炎、ANCA関連腎炎などの二次性糸球体疾患、間質性腎炎などの尿細管間質疾患の臨床的特徴、病理所見、治療法を扱う。尿検査法についても触れる。	川上貴久	1125-1230, 1177-1195, 1203-1222, 1228-1231
4/20	水	2	腎臓内科3 急性・慢性腎不全(AKIとCKD)、腎代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)	AKI(腎前性、腎性、腎後性急性腎不全)の鑑別診断と治療法、CKDの分類と原因、慢性腎不全の合併症、尿毒症によって生じる症状を復習し、保存的治療法、透析療法、さらに長期透析合併症に関して学ぶ。	福岡利仁	1151-1157, 1158-1163, 1163-1177

【腎臓病学】臨床総合演習Ⅱ(復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/23	火	4	腎臓内科1 主要症候、腎機能検査、水電解質・酸塩基・尿細管機能異常、高血圧・腎循環障害	基本的な主要症候と腎機能検査を理解し、さまざまな電解質・酸塩基平衡の異常、Bartter症候群、Gitelman症候群などの尿細管機能異常について、その病態、鑑別診断、対処法を復習する。高血圧・腎循環障害についてもここで触れる。	要 伸也	1125-1128, 1130-1151, 1228-1235, 407-416
8/30	火	4	腎臓内科2 一次性・二次性腎疾患、間質性腎炎、尿検査	IgA腎症、膜性腎症などの一次性糸球体疾患、糖尿病性腎症、腎硬化症、ループス腎炎、ANCA関連腎炎などの二次性糸球体疾患、間質性腎炎などの尿細管間質疾患の臨床的特徴、病理所見、治療法を扱う。尿検査法についても触れる。	川上貴久	1125-1230, 1177-1195, 1203-1222, 1228-1231
9/1	木	4	腎臓内科3 急性・慢性腎不全(AKIとCKD)、腎代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)	AKI(腎前性、腎性、腎後性急性腎不全)の鑑別診断と治療法、CKDの分類と原因、慢性腎不全の合併症、尿毒症によって生じる症状を復習し、保存的治療法、透析療法、さらに長期透析合併症に関して学ぶ。	福岡利仁	1151-1157, 1158-1163, 1163-1177

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 免疫・アレルギー病学
主 題 目 責 任 者： 要 伸也 教授
担 当 教 員： 教 授 駒形嘉紀
 准教授 岸本暢将
 助 教 川嶋聡子

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

免疫・アレルギー、リウマチ性疾患について病態を正確に把握し、それに基づいた臨床診断、治療を修得することを目的とする。

B. 到達目標

免疫・アレルギー、リウマチ性疾患について復習し、総論・各論の要点を理解できていることを確認し、あわせて演習を行なう。これまで学習した事項を整理し、正確に理解できるようにする。

C. 修得すべき能力

1. リウマチ膠原病、アレルギー各疾患の症候と検査法（特異的自己抗体を含む）を理解し、基本的な臨床的課題を解決できる。
2. リウマチ膠原病、アレルギー各疾患の診断と治療法を理解し、基本的な臨床的課題を解決できる。

D. 学習内容

リウマチ膠原病学：膠原病、血管炎、その他の類縁リウマチ性疾患
アレルギー病学：免疫アレルギー疾患の分類と代表的疾患について

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義内容」を読み、教科書や参考書、過去の臨床医学講義の資料、必要に応じて文献検索

等により関連事項についての情報を得るなどして、予備知識や疑問をもった上で、授業に臨むこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

なし

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 新臨床内科学 第10版

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) 膠原病診療ノート第4版（三森明夫著、日本医事新報社）

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【免疫・アレルギー病学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/15	金	3	膠原病1	血管炎症候群の病因、疫学、臨床所見、診断、治療などについての重要ポイント、各種アレルギーの反応型、代表的な先天的・後天的免疫異常疾患の特徴や重要ポイントを中心に解説する。	川嶋聡子	13章 p. 1770-1782, 1792-1793, 1805-1821
4/18	月	4	膠原病2	関節リウマチ、強直性脊椎炎、変形性関節症、ベーチェット病、痛風・偽痛風などリウマチ性疾患、自己炎症性疾患の病因、疫学、臨床所見、診断、治療などについて重要ポイントを中心に解説する。	岸本暢将	13章 p. 1745-1750, 1782-1792, 1793-1798, 1821-1828
4/21	木	3	膠原病3	膠原病の症状、治療を中心に総論の解説をする。さらに、SLE、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、成人スティル病などその他のリウマチ類縁疾患の病因、疫学、臨床所見、診断、治療などについて重要ポイントを中心に解説する。	駒形嘉紀	13章 p. 1740-1744, 1751-1760, 1762-1769, 1798-1804

【免疫・アレルギー病学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/1	木	2	膠原病 1	膠原病の症状、治療を中心に総論の解説をする。さらに、SLE、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、成人スティル病などその他のリウマチ類縁疾患の病因、疫学、臨床所見、診断、治療などについて重要ポイントを中心に解説する。	駒形嘉紀	13章 p. 1740-1744, 1751-1760, 1762-1769, 1798-1804
9/12	月	1	膠原病 2	関節リウマチ、強直性脊椎炎、変形性関節症、ベーチェット病、痛風・偽痛風などリウマチ性疾患、自己炎症性疾患の病因、疫学、臨床所見、診断、治療などについて重要ポイントを中心に解説する。	岸本暢将	13章 p. 1745-1750, 1782-1792, 1793-1798, 1821-1828
10/21	金	4	膠原病 3	血管炎症候群の病因、疫学、臨床所見、診断、治療などについての重要ポイント、各種アレルギーの反応型、代表的な先天的・後天的免疫異常疾患の特徴や重要ポイントを中心に解説する。	川嶋聡子	13章 p. 1770-1782, 1792-1793, 1805-1821

科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 循環器（循環器内科学）
主 題 目 責 任 者： 副島京子 教授
担 当 教 員： 教 授：副島京子、坂田好美、河野隆志
特任教授：佐藤俊明

その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

医師として必要な循環器病学の知識を修得する。

B. 到達目標

医師としてふさわしい価値観、倫理、医学的知識、臨床技能と問題解決能力、情報処理能力、批判的思考力を獲得する。
循環器疾患の病態・診断・治療についての総合的理解を身につける。

C. 修得すべき能力

- ①循環器系の正常構造と機能を、正しく理解できる。
- ②主要な循環器系疾患の病態生理や原因、症候について、正確に述べることができる。
- ③主要な循環器系疾患の診断に必要な検査法と、その評価や鑑別診断について、正確に述べることができる。
- ④主要な循環器系疾患の治療法について、正しく理解し説明できる。

D. 学習内容

過去の試験問題の解説が中心である。そのなかで、臨床実地に即した心疾患の解説、診断法および治療法を最新のトピックスも含めて解説する。循環器疾患の画像診断を重点項目とする。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 指定教科書（学生が所持しなければならないもの）

梅村敏、木村一雄編 ステップ内科5循環器 海馬書房（第3版）

矢崎義雄編 内科学（最新版） 朝倉書店

福井次矢、奈良信雄 内科診断学 南江堂 最新版

高久史麿編 新臨床内科学 医学書院 最新版

3. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 病気がみえる vol2 循環器 医療情報科学研究所 最新版

(R) 新目でみる循環器病シリーズ1～21（最新版）メジカルビュー

(R) 新領域別症候群シリーズ「循環器症候群」（第2版）日本臨床

(R) 新心臓病診療プラクティス1～18 文光堂

(A) 鈴木利光他監訳 ルービン病理学 西村書店 最新版

(A) 村川裕二訳 図解心電図テキスト 原書第6版（Dale Dubin 著）文光堂

4. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) Kasper DL, 他編 Harrison's Principles of Internal Medicine McGraw Hill

(A) Hurst 編 The Heart McGraw Hill

(A) Braunwald 編 Heart Disease Saunders

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【循環器(循環器内科学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/4	月	3	虚血性心疾患	虚血性心疾患について総論および各論を臨床演習を念頭に総括的・包括的にまとめる。	小山 幸平	資料配付
4/5	火	1	不整脈	不整脈について総論および各論について臨床演習を念頭に総括的にまとめる。	副島京子	資料配付
4/13	水	4	心不全・ショック	心不全・ショックについて総論および各論を臨床演習を中心に総括的・包括的にまとめ、講義する。	河野隆志	資料配付
4/19	火	3	心筋疾患	心筋疾患について総論および各論を臨床症例を中心に総括的・包括的にまとめ、講義する。	坂田好美	資料配付

【循環器(循環器内科学)】臨床総合演習Ⅱ(復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/23	火	3	高血圧・動脈硬化・大動脈疾患	高血圧・動脈硬化・大動脈疾患に関して、臨床症例を中心に講義する。	小山幸平	資料配付
8/24	水	4	弁膜症	弁膜症について総論および各論を臨床症例を中心に総括的・包括的にまとめながら述べる。	南島 俊徳	資料配付
9/6	火	3	心内膜炎・心外膜炎・心筋炎・腫瘍	心内膜炎・心外膜炎・心筋炎・腫瘍について総論的かつ総合的に臨床演習を念頭に総括する。	合田あゆみ	資料配付
9/6	火	4	成人先天性心疾患・肺塞栓・肺高血圧	成人先天性心疾患・肺塞栓・肺高血圧について総論および各論を臨床症例を念頭に総括的・包括的に述べる。	伊波 巧	資料配付
9/27	火	2	心電図	心電図について総論および各論について臨床症例を念頭に総括的にまとめる。	佐藤俊明	資料配布

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 循環器（心臓血管外科学）
主題目責任者： 窪田 博 教授
担 当 教 員： 教 授 布川雅雄、細井 温
准 教 授 遠藤英仁
講 師 峯岸祥人、伊佐治寿彦

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

心臓血管外科学における各疾患の病態、診断方法を学び、外科治療の適応基準、手術方法を理解させることを指導する。

B. 到達目標

卒後の臨床医としての基礎となる知識の修得を目標とする。

C. 修得すべき能力

心臓血管外科学の総論および各論を学び、医師として必要な基本的知識を修得する。

- (1) 循環を担う臓器の正常解剖および、その機能を理解する。
- (2) 主要疾患の病態生理、自然歴および治療法を理解する。
- (3) 自主的に学び続ける姿勢を身につける。

D. 学習内容

総論、各論の集中講義を行う。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

教科書および参考書にて講義内容の予習をする。過去の試験問題の中で関連する問題を予習し、また、M4における講義内容を復習整理すること。

G. 復習学習の内容

講義での配布資料と関連分野の教科書を用いた復習。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準的な教科書
 2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 新井達太 編：心臓外科 医学書院
(A) 安達秀雄 編：心臓血管外科テキスト 中外医学社
 3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) Kirklin/Barratt-Boyes: Cardiac Surgery (4th Edition)
Churchill Livingston
(A) Jack L. Cronenwett/K. Wayne Johnston: Rutherford's Vascular Surgery (8th Edition) Saunders
 4. 参考書C（日本循環器学会 ホームページ）
(R) 循環器病ガイドラインシリーズ
(<https://www.j-circ.or.jp/guideline/guideline-series/>)
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【循環器(心臓血管外科学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/11	月	4	血管外科・心臓外科	腹部大動脈疾患、末梢動脈疾患および静脈疾患等の診断、手術適応および外科治療について解説を行う。 虚血性心疾患、胸部大動脈疾患、後天性弁膜症、先天性心疾患の診断、手術適応および外科治療について解説を行う。	峯岸祥人・ 伊佐治寿彦	

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 血液病学
主 題 目 責 任 者： 高山信之 教授
担 当 教 員： 教 授 高山信之
 准教授 佐藤範英

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

血液疾患は、赤血球系疾患、主に腫瘍性疾患から成る白血球系疾患、血栓止血系疾患から成る。正常血液細胞の機能を正しく理解し、およびそれが破綻した際に起こりうる様々な血液疾患の診断法、病態生理、治療法について、幅広い知識を身につける。

B. 到達目標

血液疾患を正しく理解するに当たり、まず、正常の血液細胞の機能、一般的に行われる血液関連の検査法について十分な知識を習得する。次いで、赤血球系疾患、白血球系疾患、血栓止血系疾患のそれぞれについて、その病態生理、正しい診断法、標準的治療法、予後について学び、実際に患者に遭遇した際に、正しい判断ができる技術、能力を習得する。

C. 修得すべき能力

1. 正常の血液細胞の形態と機能を説明できる。
2. 血液データの異常値や、血液像、骨髓像、リンパ節の病理像などから、血液疾患を正しく診断できる。
3. 各血液疾患に対する適切な治療法、予想される合併症、期待される予後について説明できる。

D. 学習内容

臨床実地に即した血液疾患各論、検査法、治療法を、最新のトピックスも含めて要点整理する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。特にM3で使用した講義プリントは必ず復習しておくこと。各1時間程度。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。各1時間程度。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
新臨床内科学 医学書院（最新版）
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 神田善伸著：血液病レジデントマニュアル 医学書院
(R) 日本血液学会編：血液専門医テキスト 南江堂
(R) 木崎昌弘他編：WHO分類第4版による白血病・リンパ系腫瘍の病態学 中外医学社
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(R) 三輪史郎他編：血液細胞アトラス 文光堂
(R) 最新・悪性リンパ腫アトラス 文光堂
(A) 浅野茂隆他編：三輪血液病学 文光堂
(A) 金倉譲他編：EBM血液疾患の治療 中外医学社
(A) Williams WJ編：Hematology. McGraw Hill
(A) Wintrobe MM編：Clinical Hematology. Lea & Febiger
(A) WHO Classification of Tumours of Haematopoietic and Lymphoid Tissues IARC
いずれも最新版。

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【血液病学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	1	造血の基礎・赤血球疾患(1)	造血幹細胞・正常の血液細胞の形態と機能・鉄代謝・貧血総論・血液患者の診察・鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血	高山信之	964～978
4/7	木	2	赤血球疾患(2)・白血球疾患(1)	遺伝性球状赤血球症・自己免疫性溶血性貧血・発作性夜間血色素尿症・サラセミア・鉄芽球性貧血・再生不良性貧血・赤芽球病・骨髄異形成症候群・赤血球増加症・骨髄線維症	高山信之	978～1014
4/14	木	1	白血球疾患(2)	急性白血病・急性前骨髄球性白血病・慢性骨髄性白血病・Hodgkinリンパ腫・濾胞性リンパ腫・びまん性大細胞型リンパ腫・リツキシマブ・M蛋白・多発性骨髄腫・造血幹細胞移植	高山信之	1055～1116
4/14	木	2	止血・血栓の疾患	血小板の機能・血液凝固の機序・止血機能の検査・von Willebrand病・血友病・特発性血小板減少性紫斑病・アレルギー性紫斑病・抗凝固薬・抗血小板薬	高山信之	1014～1055

【血液病学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/25	木	1	造血の基礎・赤血球疾患	造血幹細胞・鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血・遺伝性球状赤血球症・自己免疫性溶血性貧血・発作性夜間血色素尿症・サラセミア・再生不良性貧血・赤芽球病・骨髄異形成症候群・赤血球増加症・骨髄線維症	高山信之	964～1055
8/25	木	2	白血球疾患、止血血栓の疾患	急性前骨髄球性白血病・慢性骨髄性白血病・Hodgkinリンパ腫・濾胞性リンパ腫・リツキシマブ・M蛋白・多発性骨髄腫・止血機能の検査・von Willebrand病・血友病・特発性血小板減少性紫斑病・アレルギー性紫斑病・抗凝固薬・抗血小板薬	高山信之	964～1055

学 科 目： 臨床総合演習

主 題 目： 内分泌・代謝病学

主題目責任者： 教室主任 安田和基 教授

担 当 教 員： 教 授 安田和基（糖尿病・内分泌・代謝内科学）

講 師 近藤琢磨（糖尿病・内分泌・代謝内科学）

学内講師 田中利明（糖尿病・内分泌・代謝内科学）

助 教 石本麻衣（糖尿病・内分泌・代謝内科学）

その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

5年生までに修得した病態や疾患に関する知識や臨床的解決能力をもとに、糖尿病を含めた内分泌・代謝疾患の鑑別診断、適切な治療法の選択について、得られた情報から正しい科学的思考をもとに対応する能力を身につける。

B. 到達目標

臨床実習において、診療チームの一員として学んだ経験を基に、学生に求められる問題解決能力を発揮する。具体的には、内分泌・代謝の生理学的な知識と疾患についての医学的知識を動員して、病歴や主要徴候から鑑別診断を挙げた上で、診断に導くために必要な科学的推論を実践し、臨床における基礎を身につける。

C. 修得すべき能力

I. 糖尿病・内分泌・代謝領域における医学的知識の習得について

1. 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎・膵内分泌組織などの主要な内分泌器官の正常の構造と機能を理解する。
2. 主要な内分泌器官の炎症性、腫瘍性、自己免疫性、遺伝性疾患の発生メカニズム、診断方法、治療法を理解する。
3. 糖尿病の発症メカニズム、診断基準、合併症の特徴、食事・運動などの治療法の原則、ならびに薬物療法の原則と個々の薬物の作用・副作用を理解する。
4. メタボリック症候群など肥満に関連する疾患やその他の代謝性疾患の発症メカニズム、診断方法・治療法を理解する。

る。

II. 糖尿病・内分泌・代謝領域における臨床技能と問題解決能力について

1. 患者、家族、同僚、他職種の人たちと良好な人間関係を築くために修得した基本的なコミュニケーション能力をもとに、病歴等の情報から疾患特有な病態や疾患を抽出できる。
2. 顔貌などの身体的特徴を観察し、甲状腺など適切な身体診察を行い、内分泌・代謝疾患特有な病態や症状を抽出できる。
3. 各種ホルモン負荷試験・ブドウ糖負荷試験などの検査方法や注意点を実施できる程度に理解し、結果の分析・解釈が適切に行える。
4. エコー、CT、MRI、シンチグラムなどの画像所見を読影し、視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎といった臓器の病変を的確に抽出できる。
5. 糖尿病患者に対する食事療法・運動療法を十分に理解し、多職種による糖尿病の療養指導を実践するための基礎知識を修得している。
6. 医師としての社会的責任を理解するとともに、修得した医学知識を活用し科学的な思考・分析に基づいて的確に判断し、問題解決を図ることができる。

D. 学習内容

講義予定表中の学習内容について、主としてプリント、スライドを用いて講義する。理解を深めるため、実際の国家試験問題を論理的に解説する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

履修案内・授業内容（シラバス）のなかの「講義テーマ」や「講義内容」を事前に読み、その領域の教科書や参考書、さらには必要に応じて関連文献などを予め検索し、関連事項についての情報を十分に得ておく。また指定教科書に従って講義を進める部分があることから、事前に講義の該当部分を予習し、講義で話さきれない項

目については、自主学習をきちんと行う。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。(各講義で1時間程度。)

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書 (学生が所持しなければならないもの)
矢崎義雄監修 新臨床内科学 (第10版) 医学書院
 2. 参考書A (学生の所持をすすめるもの)
(R) 杉本恒明、矢崎義雄総編集 内科学 (第11版) 朝倉書店
(R) 門脇 孝、永井良三総編集 カラー版内科学 西村書店
(A) 福井次矢、黒川 清監修 ハリソン内科学 (第5版)
メディカル・サイエンス・インターナショナル
 3. 参考書B (図書館等での利用をすすめるもの)
(A) 日本糖尿病学会 編・著 糖尿病専門医研修ガイドブック
改訂第8版 診断と治療社
(A) 日本内分泌学会 編集 内分泌代謝科専門医研修ガイドブック
診断と治療社
(A) Kasper D, Fauci A, et al (editors). Harrison's Principles of Internal Medicine 第19版 McGraw-Hill 2015
(A) DeFronzo RA, Ferrannini E, et al (editors). International Textbook of Diabetes Mellitus 第4版 Wiley-Blackwell 2015
(A) Melmed S, Auchus RJ, Goldfine AB, et al. (editors). Williams Textbook of Endocrinology 第14版 Elsevier 2020
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【内分泌・代謝病学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/8	金	4	糖尿病	糖尿病の診断基準とその分類について、さらに糖尿病の急性合併症（昏睡・意識障害）ならびに慢性合併症、そして糖尿病の治療に関する知識、低血糖症の診断とその鑑別、メタボリック症候群など肥満に関連する問題について整理する。	近藤琢磨	「新臨床内科学」713-793
4/11	月	1	視床下部・下垂体疾患	内分泌の総論と視床下部・下垂体の構造と機能。先端巨大症、高プロラクチン血症、TSH産生下垂体腺腫、下垂体前葉機能低下症、尿崩症、ADH分泌過剰症に関して既出問題の解説を行う。	田中利明	「新臨床内科学」841-876
4/11	月	2	副腎疾患	副腎皮質、髄質の代表的な疾患（クッシング症候群、原発性アルドステロン症、アジソン病、褐色細胞腫など）の臨床症状、検査所見、および治療について知識を整理する。	近藤琢磨	「新臨床内科学」912-934
4/12	火	1	甲状腺・副甲状腺疾患	①代表的な甲状腺疾患②Ca・P代謝および調節ホルモンと関連疾患③多発性内分泌腺腫瘍症のそれぞれについて病態を整理する。	村嶋俊隆	「新臨床内科学」877-911

2022年度 6年 講義予定表

【内分泌・代謝病学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/22	月	4	視床下部・下垂体疾患	視床下部・下垂体の構造と機能を習得した上で、内分泌ホルモン制御の基本的メカニズムを基盤として、先端巨大症、高プロラクチン血症、下垂体前葉機能低下症、尿崩症、ADH分泌過剰症の発症メカニズムに関して既出問題の解説を行う。	田中利明	「新臨床内科学」841-876
9/8	木	3	糖尿病	糖尿病の診断基準とその分類について知識を整理するとともに、既出問題について解説する。さらに、メタボリックシンドロームなど肥満に関連する問題、糖尿病の合併症や治療に関する問題についても解説を加えて行く。	安田和基	「新臨床内科学」713-793
9/12	月	2	副腎疾患	内分泌副腎領域の既出問題を解説しながら重要なポイントを整理し、講義時間内で可能な限り習得を目指す。	近藤琢磨	「新臨床内科学」912-934
9/30	金	2	甲状腺・副甲状腺疾患	Basedow病や亜急性甲状腺炎などによる甲状腺機能亢進症、および橋本病や下垂体機能低下などによる甲状腺機能低下症を中心に、その病態を整理する。さらに、Ca・Pの調節、副甲状腺ホルモン、ビタミンD、高Ca血症、低Ca血症の症状、原因疾患、治療、多発性内分泌腺腫瘍症の各項目につき、既出問題について解説を行う。	石本麻衣	「新臨床内科学」877-911

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 消化管、肝・胆・膵（消化器内科学）
主 題 目 責 任 者： 久松理一 教授
担 当 教 員： 准 教 授 松浦 稔
 特任教授 森秀明
 講 師 川村直弘、土岐真朗、三好 潤
 学内講師 林田真理、大野亜希子
 助 教 三浦みき

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

消化器系疾患の診断、鑑別診断、適切な治療法の選択の思考過程を理解する。

B. 到達目標

卒業後の臨床研修に必要な十分な消化器内科学の知識を習得する。消化器系疾患の病態を理解し、論理的思考で診断や治療を行うことができる臨床医となるために、必須な基礎的知識とその活用方法を習得する。

1. 消化器系の解剖と機能を、正しく理解し説明できる。
2. 主要な消化器系疾患の病態生理や原因、症候について、正確に述べることができる。
3. 消化器系疾患の診断に必要な主要な検査法とその結果の評価、鑑別診断について論理的思考に基づいて正確に述べることができる。
4. 主要な消化器系疾患の治療法について、正しく理解し説明できる。

C. 修得すべき能力

1. 消化器系の解剖、機能を正しく理解し説明できる。
2. 消化器系疾患の原因、病態生理、症候について理解し説明できる。
3. 消化器系疾患の鑑別診断をあげることができる。
4. 消化器系疾患の診断に必要な検査法を論理的に説明できる。
5. 主要な消化器系疾患の治療方針について論理的に説明できる。

D. 学習内容

1. 主として PC プレゼンテーションにより講義する。社会的状況を鑑みて対面および IT を用いた遠隔授業を行う。
2. 国家試験問題を正答するために必要な知識のみならず、卒業後の臨床研修に必要な十分な知識を講義する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

履修案内・授業内容(シラバス)のなかの「講義テーマ」や「講義内容」を事前に読み、教科書や参考書、さらには必要に応じて関連文献などを予め検索し、関連事項についての情報を十分に得たうえで講義に臨む。1時間。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントおよび教科書の該当部分を読み、各疾患の病態、診断法、治療法について論理的に理解し、説明できるようになること。2時間。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書(学生が所持しなければならないもの)
矢崎義雄 総編集 内科学 第11版 朝倉書店
矢崎義雄 監修 新臨床内科学 第10版 医学書院
2. 参考書A(学生の所持をすすめるもの) (R)
(A) 石橋賢一 Navigate 消化器疾患 医学書院
3. 参考書B(図書館等での利用をすすめるもの)
(R) 小俣政男, 千葉勉監修 専門医のための消化器病学 第2版 医学書院

※(R): Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A): Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【消化管、肝・胆・膵(消化器内科学)】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/6	水	1	【肝・胆・膵】肝腫瘍の画像診断とその治療	肝腫瘍の画像検査（腹部超音波、CT、MRIなど）の特徴、および肝細胞癌など肝悪性腫瘍の内科的治療法について、実際の画像を提示しながら、肝腫瘍に関する問題について解説する。	森 秀明	1108-1119 (朝倉)
4/6	水	2	【消化管】感染性腸炎、結腸憩室、虚血性腸炎	感染性腸炎、結腸憩室疾患、虚血性腸炎の病態と診断、治療についてポイントを絞って解説する。	三浦みき	953-957 971-972 1010-1012 (朝倉)
4/6	水	3	【肝・胆・膵】胆道疾患の診断と治療	胆石症、胆道感染症、胆道系悪性腫瘍の診断と治療について解説する。	土岐真朗	1150-1175 (朝倉)
4/12	火	4	【肝・胆・膵】肝疾患の診断と治療	急性・慢性肝疾患、肝硬変、肝不全の病因、病態、診断、治療につきポイントを絞って解説する。	川村直弘	1046-1048 1052-1107 (朝倉)
4/13	水	1	【消化管】IBD、CDI、腸結核	炎症性腸疾患、CD腸炎、腸結核の病態と診断、治療についてポイントを絞って解説する。	松浦 稔	959-970 (朝倉)
4/13	水	3	【肝・胆・膵】膵疾患の診断と治療	急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵嚢胞性腫瘍、膵悪性腫瘍の診断と治療について解説する。	土岐真朗	1175-1202 (朝倉)
4/21	木	2	【消化管】食道・胃疾患の診断と治療	食道・胃疾患の主要疾患の診断と治療について画像を中心にポイントを絞って解説する。	大野亜希子	894-951 (朝倉)
4/21	木	4	【消化管】大腸・小腸疾患の診断と治療	感染性腸炎、小腸疾患（ポリポーシス、吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症を含む）についてポイントを絞って解説する。	林田真理	954-957 985-989 1005-1009 (朝倉)

2022年度 6年 講義予定表

【消化管、肝・胆・膵(消化器内科学)】臨床総合演習Ⅱ (復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/22	月	3	【肝・胆・膵】胆・膵疾患の診断と治療	胆石症、胆道感染症、胆道系悪性腫瘍、急性膵炎、慢性膵炎、膵腫瘍の国家試験問題について解説する。	土岐真朗	1150-1202 (朝倉)
8/29	月	3	【消化管】エッセンスのみ復習	主要な消化管疾患の国家試験問題における重要事項について解説する。	三好 潤	なし
8/29	月	4	【肝・胆・膵】肝疾患の診断と治療	急性・慢性肝疾患、肝硬変、肝不全、肝腫瘍の国家試験問題につきポイントを絞って解説する。	川村直弘	なし
9/8	木	2	【消化管】食道・胃疾患の診断と治療	食道・胃疾患の主要疾患の国家試験問題について画像を中心にポイントを絞って解説する。	大野亜希子	なし

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 消化管・肝・胆・膵（消化器・一般外科学）
主題目責任者： 須並英二 教授
担 当 教 員： 教 授 須並英二、阿部展次、阪本良弘
 准教授 鈴木 裕
 講 師 竹内弘久

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

消化管・肝胆膵疾患について病態・症候、診断を理解したうえで、外科治療の知識を深める。

B. 到達目標

1. 消化器外科疾患の病態・診断・治療を学ぶ。
2. 医療全体からみた消化器外科治療の役割・意義を学習する。

C. 修得すべき能力

1. 消化器領域における正常の解剖構造と機能を理解する。
2. 消化器領域疾患の病態生理と自然史を理解する。
3. 消化器領域疾患の身体診察法や診断法、治療法を理解する。
4. 消化器領域疾患の外科治療の適応を説明できる。
5. 消化器領域疾患の薬物治療の適応を理解する。
6. 外科的侵襲に対する生体の反応について説明できる。
7. 手術前後の患者管理について説明できる。
8. 外科医療に求められる倫理と法的責任を認識する。
9. 安全な外科医療を行うための知識を習得する。

D. 学習内容

- 1) 逆流性食道炎、アカラシアの診断・治療について説明できる。
- 2) 食道癌外科治療における周術期管理や治療法に関して説明できる。
- 3) 胃潰瘍の外科的治療の適応を説明できる。
- 4) 胃腫瘍の診断や治療につき説明できる。
- 5) 結直腸の良性疾患（炎症性腸疾患など）について説明できる。
- 6) 結直腸癌の診断・病期・治療法の選択につき説明できる。

- 7) 肝癌（原発性、転移性）の診断・治療について説明できる。
- 8) 膵腫瘍（膵癌や嚢胞性膵腫瘍）の診断・治療について説明できる。
- 9) 胆道癌（胆管、胆嚢、乳頭部）の診断・治療について説明できる。
- 10) 胆石症や胆管炎の診断と治療について説明できる。
- 11) 急性・慢性膵炎の外科治療について説明できる。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

外科学の過去の講義内容や国家試験の過去問題を復習し、教科書・参考書、必要に応じて文献検索などにより、関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや、国家試験過去問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準外科学第15版（医学書院）
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
特になし
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
特になし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【消化管、肝・胆・膵(消化器・一般外科学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/18	月	3	【消化管】食道、胃疾患	食道・胃の良性・悪性疾患に対する治療法の選択を述べ、これらの外科治療について解説する。	阿部展次	資料配布
4/20	水	3	【消化管】下部消化管疾患	大腸肛門疾患の病態・診断を述べ、これらの外科的治療について解説する。	須並英二	資料配布
4/20	水	4	【肝・胆・膵】肝胆膵疾患の診断と治療	肝癌・膵腫瘍・胆道癌・胆管炎・膵炎の外科治療について解説する。	阪本良弘	資料配布

【消化管、肝・胆・膵(消化器・一般外科学)】臨床総合演習Ⅱ(復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/27	火	3	【消化管】	上部消化管・下部消化管の外科の問題演習	竹内弘久	資料配布
10/4	火	3	【肝・胆・膵】	肝胆膵外科の問題演習	鈴木 裕	資料配布

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 感染症（総合医療学）
主 題 目 責 任 者： 倉井大輔 教授
担 当 教 員： 教 授 倉井大輔
 助 教 嶋崎鉄兵

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

感染症診療・感染制御が行える医師を育成する。感染症診療においては、感染臓器と微生物を意識した診断・治療法を学習し、臨床医に求められる感染症治療の考え方を学び、整理する。また、感染対策においては、臨床現場で自身及び患者の安全を守る感染対策が行えるようにする。

B. 到達目標

今まで修得した感染症診療・感染制御に対する知識を整理し、他の臨床医学の分野の知識を総合し、臨床的な問題を解決できる能力を身につける。

C. 修得すべき能力

1. 診断: 代表的な感染症の症状・診断方法を理解し、説明できる。
2. 治療: 代表的な抗微生物薬の使用方法や外科的な治療法を理解し、説明できる。
3. 感染制御: 院内感染対策とワクチンの基本を理解し、説明できる。

D. 学習内容

臨床実地に必要な感染症領域の要点整理と問題解説と演習

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に講義テーマや講義内容を読み、過去の試験問題に目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義内容について、講義資料や参考書による確認作業を行う。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

なし

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症

(R) 東京都感染症マニュアル2018

(http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/kansen-manual_2018.html) よりダウンロード可能

(A) ハリソン内科学 第5版 福井次矢（監修），黒川 清（監修）

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) レジデントのための感染症診療マニュアル 第3版
青木眞

(A) Mandell, Douglas, & Bennett's Principles & Practice of Infectious Diseases, 8th ed., in 2 vol

(A) Mayhall's Hospital Epidemiology and

Infection Prevention

David Weber（著），Tom Talbot（著）

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【感染症(総合医療学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/8	金	3	ウイルス性発疹症	皮疹を伴う発熱患者へのアプローチと、代表的なウイルス性発疹症(麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、手足口病など)に関して概説する。	嶋崎鉄兵	なし
4/19	火	1	院内感染対策	標準予防策と経路別予防策を確認する。また、職業感染予防のための対策(ワクチン接種など)を説明する。	倉井大輔	なし
4/21	木	1	HIV/免疫不全症/性感染症	免疫不全・性感染症を疑う患者の診断、治療方法を概説する。特に、HIVに関してはその代表的な日和見疾患についての説明を行う。	倉井大輔	なし

【感染症(総合医療学)】臨床総合演習Ⅱ(復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/29	木	3	感染症全般	国家試験問題のポイントについて解説を行う。	倉井大輔	なし

学 科 目： 臨床総合演習

主 題 目： 感染症（感染症学）

主題目責任者： 三戸部治郎 教授

担 当 教 員： 教 授 三戸部治郎（感染症学）

A. 教育の基本方針

感染症学および微生物学領域における、卒業後の臨床研修に必要十分な医学知識の習得とその応用力を高めることを目指す。

B. 到達目標

微生物の分類、性状、病原性などに関する基礎的知識を整理するとともに、感染症の診断、病態、治療および予防を理解する。

C. 修得すべき能力

1. 微生物の性状を理解したうえで、感染症発症に働く機構を説明できる。
2. 各種病原体の特徴を理解し、感染症の病態を説明できる。
3. 感染症の治療の基礎を身に着ける。
4. 感染症の予防についての基本事項を説明できる。
5. 感染症法に基づいた届け出義務の基本事項を説明できる。

D. 学習内容

臨床的に重要な感染性胃腸炎を取り上げ、これらの診断、病態、治療および予防について基本的事項をまとめる。また、微生物の病原因子および宿主側の感染免疫についても理解を深め、感染症の病態を総合的に把握する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

なし

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(A) 標準感染症学 医学書院

(A) 標準微生物学 医学書院

(R) 病気が見える vol.6 免疫・膠原病・感染症（第2版）

メディックメディア

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) ブラック微生物学 丸善

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【感染症(感染症学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/14	木	3	消化管感染症	消化管感染症（ウイルス性胃腸炎、カンビロバクター、病原性大腸菌、赤痢、サルモネラ属、コレラ、ディフィシル菌、毒素性食中毒）の病原体の特徴、発症機構を復習する。また消化管感染症の診断、治療、予防、疫学および感染症法上の届け出義務について学習する。	三戸部治郎	特に指定しない

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 高齢医学
主題目責任者： 神崎恒一 教授
担 当 教 員： 教 授 神崎恒一

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

高齢者を診るうえでは、高齢者に特有な疾患や病態（多病、老年症候群）、またその背景にある心身の機能の低下（フレイル、サルコペニア）について理解する必要がある。また、心身の機能が衰えた高齢者を支える社会の仕組み（介護保険制度など）についても知っておく必要がある。本講義ではそのような知識を修得する。

B. 到達目標

高齢者の特性である各臓器の機能低下、フレイル、サルコペニア、老年症候群、多病についてまず理解する。そして、それを評価するための方法である総合機能評価について理解する。また、医療と同時に必要な介護保険制度や具体的なサービス内容について理解する。特に認知症の場合、介護保険サービスを利用する機会が多いので、認知症診療を理解する。これらの知識は、すべて卒後臨床研修で必要となるものである。

C. 修得すべき能力

1. 高齢者を総合的に評価する方法について理解する。
2. フレイル、サルコペニアについて理解する。
3. 介護保険制度ならびにサービスについて理解する。
4. チーム医療・多職種協働について理解する。
5. 認知症について理解する。

D. 学習内容

高齢者に特有の病態（多病、フレイル、低栄養、老年症候群、認知症など）、総合機能評価（ADL、認知機能、うつ、意欲など）、認知症を理解し、その対処法（医療的対応と介護保険を利用した対応）について学ぶ。

- E. 実習・課外授業
1. 実習 なし
 2. 課外授業 なし
- F. 準備学習の内容
教科書の該当項目に目を通しておく。
- G. 復習学習の内容
指定教科書ならびに講義で配布されたプリントをよく読み、授業内容の理解に努める。
- H. 成績評価の方法・基準
総合試験で判定する。可否判定は「M6試験に関する内規」に従う。
臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。
- I. 学習指導書
1. 教科書
老年医学講義テキスト（日本老年医学会編集／発行）西村書店 2013 東京
 2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 健康長寿診療ハンドブック（日本老年医学会編集／発行）メジカルビュー社 2011 東京 日本老年医学会編
老年医学テキスト第3版 メジカルビュー社 2008
 3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) 大内尉義編 新老年学 東京大学出版会 2010
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【高齢医学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/5	火	4	内科総論： 高齢者の特徴、 医療・介護に必要な知識、認知症	高齢者に特有の病態（多病、フレイル、老年症候群）を理解し、その対処法（医療的対処と介護保険を利用した対応）について復習する。また、認知症について診断、治療、ケアなどを包括的に理解する。	神崎恒一	老年医学講義テキスト 60-69、 73-86、 92-126、 257-265、 288-297

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 医学総論・生活習慣病（総合医療学）
主 題 目 責 任 者： 岡 本 晋 教授
担 当 教 員： 准教授 徳永健吾

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

実臨床への準備教育と位置づけられる授業である。講義では、臨床医学講義で学んだ生活習慣病についての知識を診断に応用するために、主要な症状や検査値に基づいて鑑別診断を列挙すること、および検査計画、治療計画の立案について学び、理解、整理する。

B. 到達目標

実臨床において、診療チームの一員として主要症状から鑑別診断を列挙し、さらに診断を進めるための臨床推論の基本を習得する。また、実際の患者に接して医療面接と身体診察を行うために必要な診療技能と医療者としての態度を身につける。

C. 修得すべき能力

1. メタボリック症候群の概念・診断基準・治療について説明できる
2. 高血圧・糖尿病・脂質異常・尿酸代謝異常の診断基準・治療について説明できる
3. 生活習慣が関連する疾患について説明できる。
4. 医療面接と身体診察を行うために必要な診療技能を習得する。

D. 学習内容

生活習慣病全般につき講義する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講

義内容」を読み、生活習慣病についての情報を調べたうえ講義に望む。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや演習問題の解説等について十分に復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
特になし
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(A) 朝倉内科
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
特になし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【医学総論(総合医療学)】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/18	月	2	生活習慣病	生活習慣が関連する疾患や癌について、臨床診断、鑑別診断、適切な治療法について、理解・整理する。	徳永健吾	配布資料

※臨床総合演習 II (復習) の授業はありません。

学 科 目：臨床総合演習

主 題 目：医学総論等（医療の質と安全・医療事故防止）

主 題 目 責 任 者：大荷満生 教授

担 当 教 員：大荷満生（高齢医学・医療安全推進室・室長）

上記担当教員については、主として医学部附属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

「M6 臨床総合演習」は、医学部 6 年間の学習の総まとめと位置づけられる。医師として必要な教養、基礎医学、臨床医学と多くのことを学んできたが、その中で医療の質と安全・医療事故防止・院内感染対策等の重要事項をまとめて解説する。

B. 到達目標

医療の質と安全・医療事故防止等に関する重要事項を理解し、医師となった時に実践できる十分な知識を身につけることを目標とする。

C. 習得すべき能力

1. 病院機能評価、クリニカルインディケーター、患者満足度、患者説明文書・同意書、インフォームドコンセント、クリニカルパスについて説明できる。
2. 医療事故の発生要因・再発防止策について考察できる。
3. インシデンレポートと医療事故報告書の役割が理解できる。
4. 医療事故調査制度、産科医療保障制度を説明できる。
5. 医薬品による有害事象への対応を説明できる。

D. 学習内容

- 1 コマの講義で医療の質と安全の確保について解説する。

E. 実習・課外授業

1. 実 習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

過去数年分の医師国家試験問題で該当する問題を解いてみて、自

分はどの部分がまだよく理解できていないかを把握しておくことが望ましい。

G. 復習学習の内容

授業で解説した内容について、卒業試験等の既出問題を解いて確実な知識として定着させること。

H. 成績評価の方法

総合試験で判定する。合否判定は「M6 総合試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

特になし

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

特になし

3. 参考書B（図書館での利用をすすめるもの）

特になし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【医学総論等（医療の質と安全・医療事故防止）】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/14	水	3	【医療の質と安全・医療事故防止・院内感染対策】	医師として必要とされる医療の質と安全・医療事故防止等に関する重要事項を要約して、解説・講義する。	大荷満生	なし

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 外科総論
主 題 目 責 任 者： 井 本 滋 教授
担 当 教 員： 講 師 吉敷智和
学内講師 伊坂泰嗣

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

臓器別統合型学習を効果的に実践できるようになるために、外科学全般について病態・治療を十分に把握・理解し、手術侵襲に対する生体反応やその治療過程など基礎医学に基づいた外科医療の知識を学ぶことが目的である。

B. 到達目標

外科的侵襲、外科代謝学、周術期管理、外科腫瘍学、外科基本手技について理解する。

- 1) 外科総論を理解することができる。
- 2) 下記の項目につき理解・説明できることを目標とする。
 - ①医の原則とリスクマネジメントについて
 - ②病態と症候について

C. 修得すべき能力

- 1) 外科治療の意義を理解する。
- 2) 手術における侵襲・危険因子・合併症・輸血について理解する。
- 3) インフォームド・コンセントの重要性を理解する。

D. 学習内容

- 1) 外科的治療の基本的考え方を説明できる。
- 2) インフォームド・コンセントの定義と必要性について説明できる。
- 3) 外科手術に必要なリスクマネジメントについて説明できる。
- 4) 手術侵襲による生体反応をあげ、基本的対応を説明できる。
- 5) 手術の危険因子をあげ、基本対応を説明できる。
- 6) 周術期管理を理解し、主な術後合併症をあげ、基本対応を説明できる。

7) 輸血の適応、種類、副作用を説明できる。

8) 移植の概念、適応、種類を説明できる。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし

2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、それらに照らし合わせた外科学の過去の講義内容を復習し、教科書・参考書、必要に応じて文献検索などにより、関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

標準外科学 医学書院 最新版

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(A) 新臨床外科学 南山堂

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(R) 国試外科学 医学評論社

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【外科総論】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/19	火	2	総論演習 1	外科的侵襲、ショック、外科代謝と栄養につき基本的項目の見直し、演習をおこなう。また外科的リスクの評価や周術期管理についても演習を行う。	伊坂泰嗣	標準外科学
9/2	金	1	総論演習 2	外科腫瘍学を理解するとともに、消毒・滅菌、創感染・創治癒の基本的な知識を学び、縫合・切開・ドレナージなど外科基本手技の本質を理解する。	吉敷智和	標準外科学

※臨床総合演習 II（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 乳腺外科学
主題目責任者： 井本 滋 教授
担 当 教 員： 教 授 井本 滋

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

- A. 教育の基本方針
乳腺疾患に関する理解を深める。
- B. 到達目標
乳癌の疫学と診断、良性疾患との鑑別、集学的治療の意義について理解する。
乳房の解剖、乳腺とホルモン、良性および悪性疾患について学習する。
- C. 修得すべき能力
乳腺疾患の診断と治療を理解する。
- D. 学習内容
乳腺の解剖と生理を習得する。良性悪性疾患の特徴と画像診断について習得する。治療の概要について理解を深める。
- E. 実習・課外授業
1. 実習 なし
2. 課外授業 なし
- F. 準備学習の内容
M4講義、ならびにM5 B S Lで配布したプリントを復習する。
- G. 復習学習の内容
講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。
- H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準外科学 医学書院 最新版
 2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(A) 新臨床外科学 南山堂
 3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(R) 国試外科学 医学評論社
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【乳腺外科学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/7	水	1	乳腺疾患の診断と治療	乳腺の解剖と生理を習得する。良性悪性疾患の特徴と画像診断について習得する。治療の概要について理解を深める。	井本 滋	標準外科学

※臨床総合演習 II（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 麻酔科学
主 題 目 責 任 者： 萬 知子 教授
担 当 教 員： 准教授 関 博志

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

麻酔科学が対象とする患者は手術室・ICU・緩和ケア等いずれにおいても、疾患やその治療による様々なストレスにさらされている。麻酔科学の学習を通して、個々の患者の病態を総体的に理解し、適切な全身管理と苦痛を軽減するために必要な知識を修得する。

B. 到達目標

周術期の全身管理をはじめ麻酔関連の医療現場で必須の倫理感に基づいた態度を習得すること、全身管理や心身の苦痛の軽減に必要な医学的知識を持ち、個々の病態における適切な問題抽出・解決能力を備えていること、各医療現場で、患者・家族・多職種 of 医療スタッフとの信頼関係を築き、問題解決のために有効な協力体制を構築できるようなコミュニケーション能力を身につけていること、を到達目標とする。

C. 修得すべき能力

1. 術前評価に必要な診察の仕方や検査の手順を説明できる。
2. 合併症（心疾患、呼吸器疾患、代謝疾患など）を有する患者の術前評価と麻酔管理法の選択についてあらましを説明できる。
3. 標準的な麻酔（全身、局所）の方法、それに伴う全身状態の変化と合併症とその対策について理解する。
4. 術中麻酔管理に必要な器具や患者監視装置について、薬剤の種類と作用について理解する。
5. 気道管理法特に気管挿管の目的と方法、合併症・挿管困難について理解する。
6. 周術期の主要な合併症とその治療についてあらましを説明できる。
7. 緩和ケアの基本的概念と方法を理解する。

D. 学習内容

過去の試験問題の演習および解説を通して、これまでの講義と実習で得た知識の総復習を行う。範囲は、全身麻酔、局所麻酔、周術期全身管理、疼痛管理全般(ペインクリニック・緩和ケア)とする。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

履修案内・授業内容(シラバス)に示した教科書の指定箇所及び「M4麻酔科学講義資料」を事前に読んでおく。

G. 復習学習の内容

講義で配布された資料を熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書(学生が所持しなければならないもの)
なし
2. 参考書A(学生の所持をすすめるもの)
(R) 標準麻酔科学 第7版 医学書院
3. 参考書B(図書館等での利用をすすめるもの)
なし

※(R): Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A): Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【麻酔科学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/21	水	1	麻酔・疼痛管理	試験問題の演習および解説を通して、これまでの講義と実習で得た知識の総復習を行う。範囲は、全身麻酔、局所麻酔、周術期全身管理とする。	関 博志	標準麻酔科学 第7版 医学書院

※臨床総合演習II（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 形成外科学
主 題 目 責 任 者： 多久嶋亮彦 教授
担 当 教 員： 教 授 多久嶋亮彦

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

M4、5で学んだ知識、実習を踏まえて、形成外科領域における卒業後の臨床研修に必要な十分な医学知識の習得の完成を目指す。

B. 到達目標

形成外科では他者の目にとまる部位を扱うため、より高い次元での価値観、倫理観を医師が持つことを要求される。これらは他科の医師にも通じることであるので、形成外科を通じてそれを学ぶ。形成外科では頭部・顔面、体幹、四肢とあらゆる部位を扱うため、医学的知識として、人体の正常の構造と機能を深く理解する必要がある。それらの習得を目標とすることは国家試験での基礎的な問題にも対処可能である。臨床研修で経験する可能性のある形成外科領域の知識を身につける。

C. 修得すべき能力

1. 顔面解剖（骨、血管、神経、筋肉の構造）の解剖名を覚えるだけでなく、自分で3次元的構造をイメージできるようにすること
2. 挫創、切創、熱傷など創傷治癒の過程が把握できるようにすること
3. 形成外科における疾患の病態、治療法の概要が理解できるようにすること

D. 学習内容

形成外科領域の試験問題を分野別にまとめているので、それらの問題を解いていけば必ずその領域の知識が身につく。プリントに問題をまとめ、その解説も作成しているので、講義後にも活用してもらいたい。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

近年、系統解剖、創傷治癒、など基礎的なこと、特に脳神経の感覚、運動支配に関する知識が重要視されているのでこれらを復習し、準備しておく。

G. 復習学習の内容

プリントに書かれている過去の試験問題と解説を参考として、形成外科領域知識を総括的に身につける。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
解剖学書
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R)波利井 清紀監修 TEXT 形成外科学(改訂3版) 南山堂
2017
(R)平林慎一監修 標準形成外科学 医学書院 第7版
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
なし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【形成外科学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/13	火	2	形成外科関連の試験問題と復習	近年、系統解剖、創傷治癒、など基礎的なこと、特に顔面骨の解剖や、脳神経の感覚、運動支配に関する知識が重要視されているので、復習を兼ねて既出問題を解説する。	多久嶋亮彦	波利井清紀監修 TEXT形成外科学（改訂3版）南山堂 2017

※臨床総合演習 II（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 精神神経科学
主題目責任者： 渡邊衡一郎 教授
担 当 教 員： 教 授 渡邊衡一郎
 准教授 坪井貴嗣
 講 師 櫻井 準
 助 教 今村弥生

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく内容を講義する。

A. 教育の基本方針

精神症状は画像や血液検査などで表出されず、面接においても、非言語的な側面から症状の評価が必要となる。また精神医学・医療は社会的背景の影響も受け、精神症状があるために治療を拒否する当事者への人権を配慮した治療を要する場合もある。これらの特徴を踏まえ、主要な精神疾患についての重要な知識を整理し、医師として必要な精神医学の知識の習得を目指す。

B. 到達目標

1. 主要な精神疾患の概要・診断・治療について説明できる。
2. 精神保健福祉法、その他関連法規を理解し、人権に配慮した医療について論じることができる。
3. 幻覚、気分の変動、認知機能障害などの精神疾患を持つ当事者に適切な面接ができる。

C. 修得すべき能力

1. 精神疾患を持つ当事者の主治医として、診療カンファレンスで現病歴・現症・鑑別診断・治療方針をプレゼンテーションできるようになる。
2. 主要疾患については治療に用いる向精神薬のカテゴリーを選択できるようになる。
3. うつの重症度や統合失調症のスクリーニングなど質問紙を用いた精神症状の評価について理解する。
4. 妄想などの思考・行動に影響が出ている当事者に配慮のあるコミュニケーションが取れるようになる。
5. 当事者のリカバリーに向けた社会資源や心理社会的アプローチ

チについて検討できるようになる。

D. 学習内容

日程と詳細は別紙参照。問題解説を中心に領域をまとめて講義する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

教科書、参考書により基本的な知識を学習しておく。過去の試験問題に目を通しておく。

G. 復習学習の内容

授業で指摘したポイントを教科書、参考書での記載、過去の問題内容を改めて確認する。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準精神医学（医学書院）第8版 尾崎紀夫・三村将・水野雅文・村井俊哉編
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 精神科における予診・初診・初期治療（星和書店）
笠原嘉著
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル 日本精神神経学会編 医学書院
(A) カプラン臨床精神医学テキスト（メディカルサイエンスインターナショナル）第3版
(R) 臨床精神医学講座 中村書店

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【精神神経科学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書 (STEP精神科第2版)
9/16	金	4	気分障害、医療面接	気分障害の国際分類につき説明するとともに、治療法、特に薬物療法と認知行動療法の適用につき正しい知識を教授する。医療面接についても、過去の試験問題を参照しながら復習を兼ねて系統的な解説を行う。	渡邊衡一郎	196～210
9/21	水	2	器質性精神障害、依存と中毒、睡眠障害、児童思春期の精神障害	社会的にも注目される器質性精神障害（認知症を含む）について解説する。また睡眠障害につき精神医学的観点から概説するとともに過去の問題につき十分な解説を行う。さらに幼児・小児・青年期の精神障害につき、最近の分類に基づきわかりやすく説明する。	櫻井 準	103～126、 158～174、 229～235、 245～266
9/21	水	3	統合失調症、心理・精神機能検査	代表的な精神障害のひとつである統合失調症およびその周辺の疾患の概念、症状や臨床特徴、治療法などについての基礎知識を復習する。また心理検査について誤りのない適用が選択できるよう指導する。	坪井貴嗣	56～65、 175～195
10/19	水	1	精神保健福祉法とその他の精神疾患	過去に出題された領域の中から、BSLでは経験しにくい疾患や、疾患理解が困難な精神疾患についての知識の整理のための解説を行う。	今村弥生	211～225、 226～228、 239～244、 267～280

【精神神経科学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/2	水	1	精神医学全般	精神神経科における最も重要かつ基本的な内容を集中的に学び復習する	渡邊衡一郎	全体

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 小児（小児科学）
主 題 目 責 任 者： 教 室 主 任： 成 田 雅 美 教 授
担 当 教 員： 教 授： 成 田 雅 美、 吉 野 浩
准 教 授： 保 崎 明、 細 井 健 一 郎
講 師： 田 中 絵 里 子、 福 原 大 介
助 教： 麓 聖 子、 宮 田 世 羽

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

子どもは「小さな大人」ではなく、誕生し育ち自立していく存在である。胎児期から出生での大きな環境の変化、その後の発達・発育をする子どもを理解し、小児期特有の病気・病態について、幅広い知識を獲得する。

B. 到達目標

卒業に向けてこれまでに習得した知識の総まとめを行う。小児疾患の成因、病態、予後における特性についての知識の整理を完成させる。自主的な意見の発信を促し、コミュニケーション能力の向上を目指す。健康な新生児、乳児、幼児、学童、思春期の生理的および発達の側面を復習し、各分野別に主な疾患について、病態および臨床像についてのポイントを復習し知識を確実にする。また、小児期の保健について必要な知識を身につける。

C. 修得すべき能力

1. 問題解決に必要な患者情報を適切に収集し、整理できる。
2. 小児科の特性（疾患、検査結果、診療技術）を理解できる。
3. 小児特有の生理学を基にした鑑別診断ができる。
4. 疾患の症例を適切に要約し、他者と討論できる。

D. 学習内容

小児科学についての過去の試験問題を分類し、演習を行いながら、知っておくべき知識を復習する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

M4の発育小児の内容および、M5BSLの診断学の内容。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
内山 聖監修 標準小児科学 第8版 医学書院
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
特になし
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
特になし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【小児(小児科学)】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/22	月	2	神経疾患・神経筋疾患・発達障害	小児期の代表的な神経疾患、筋疾患、てんかん、発達障害などについてポイントを復習する。	宮田世羽	標準小児科学 第22章、第23章、24章
8/23	火	1	免疫・膠原病・腎臓・川崎病	免疫不全症、川崎病などの膠原病、小児腎疾患について、重要なポイントを復習する。	福原大介	標準小児科学 第12章、14章、21章
8/24	水	2	成長・発達・アレルギー	小児の成長・発達に関する問題は頻出である。さらに、小児に多いアレルギー疾患の特性について復習する。	成田雅美	標準小児科学 第1章-第2章 第13章
8/31	水	1	感染症・予防接種・小児保健	小児期の感染症および予防接種についての基本的な知識を復習する。予防接種の基本的な種類とスケジュールを習得する。	田中絵里子	標準小児科学 第4章 第15章
8/31	水	2	循環器疾患	頻度の高い先天性心疾患を中心に、重要なポイントを復習する。	保崎 明	標準小児科学 第17章
9/14	水	1	内分泌疾患・先天代謝異常	小児期に多い内分泌疾患、低身長、性分化異常などについて重要なポイントを復習する。代表的な先天代謝異常症を復習する。	福原大介	標準小児科学 第9章 第11章
9/14	水	2	新生児	正常新生児の特徴と、新生児期に特有な疾患群のポイントを復習する。	細井健一郎	標準小児科学 第7章
9/20	火	1	血液疾患・腫瘍	小児の悪性腫瘍、特に最も頻度の高い疾患である白血病について、その病態の特徴と、実際の治療について復習する。	吉野 浩	標準小児科学 第19章、20章
10/17	月	1	奇形・染色体異常	染色体異常などの先天異常および基本的な遺伝学の知識を復習し、先天異常の中で特に重要な疾患について復習をする。	麓 聖子	標準小児科学 第8章

2022年度 6年 講義予定表

【小児(小児科学)】臨床総合演習Ⅱ (復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/24	月	1	成長・発達・アレルギー・内分泌疾患	小児の成長・発達、アレルギー疾患に関する問題は頻出である。さらに、内分泌疾患は必須項目であるため復習する。	成田雅美	標準小児科学 第1章、2章、11章、13章
10/28	金	3	先天性心疾患・新生児・神経疾患・発達障害	小児期の代表的な新生児疾患、神経疾患、発達障害、心疾患についてポイントを復習する。	細井健一郎	標準小児科学 第7章、17章、22章、23章、24章
10/28	金	4	血液疾患・腫瘍・感染症・予防接種	小児の悪性腫瘍、特に最も頻度の高い疾患である白血病について、その病態の特徴と、実際の治療について復習する。小児期の感染症および予防接種についての基本的な知識を復習する。予防接種の基本的な種類とスケジュールを習得する。	吉野 浩	標準小児科学 第4章 第15章 第19章

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 小児（小児外科学）
主 題 目 責 任 者： 浮山越史 教授
担 当 教 員： 教 授 浮山越史
 学内講師 渡邊佳子

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

小児外科の主な疾患を想起し、診断から治療に至る過程を説明できる。

B. 到達目標

基本的な小児外科の医学的知識を備え、系統だった基本的な臨床技能が行え、適切な問題解決能力を示すことができる。

C. 修得すべき能力

1. 小児外科の主な疾患の「概略」を説明できる。
2. 小児外科の主な疾患の「症状」を理解している。
3. 小児外科の主な疾患の「診断」のためのプロセスを説明できる。
4. 小児外科の主な疾患の「治療」を理解する。

D. 学習内容

小児外科の主要疾患

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に4年時の学習の際に使用した資料を読み、関連事項についての情報を得たうえでこれに目を通し演習に備える。

G. 復習学習の内容

講義で配付された問題の解答および教科書の関連ページを熟読し

て復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

標準外科学（第15版）医学書院

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

特になし

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) 標準小児外科学（第8版）医学書院

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【小児(小児外科学)】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/3	月	4	小児外科関連問題解説	小児外科に関係する過去の試験問題の解説	浮山越史	標準外科第15版 小児外科
10/31	月	3	小児外科関連問題解説	小児外科に関係する過去の試験問題の解説	浮山越史	

【小児(小児外科学)】臨床総合演習 II (復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/31	月	4	小児外科関連問題解説	小児外科に関係する過去の試験問題の解説	浮山越史	標準外科第15版 小児外科

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 産科婦人科学
主 題 目 責 任 者： 教室主任 小林陽一 教授
担 当 教 員： 教 授 小林陽一、谷垣伸治
准 教 授 田嶋 敦、森定 徹
講 師 松本浩範、百村麻衣
学内講師 澁谷裕美、松島実穂
その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

産婦人科領域における、卒業後の臨床研修に必要な十分な医学知識の習得と応用力の完成を目指す。

B. 到達目標

1. 生殖・妊娠・分娩の生理に精通し、これらの領域の疾患について診断法と治療法を述べられる。
2. 婦人科良性・悪性疾患の病態を理解し、それらの診断・治療法をあげることができる。

C. 修得すべき能力

1. 妊娠に伴う生理学的変化を把握し、妊娠合併症及び合併症妊娠の病態と周産期管理の概略を説明することができる。
2. 胎児の発達生理を理解し、病態と診断、管理について説明できる。
3. 分娩・産褥の正常経過及び異常について理解し、治療を述べることができる。
4. 女性性器の基本的解剖を説明できる。
5. 超音波断層法や MRI などの画像診断における子宮や卵巣の正常・異常所見を説明できる。
6. コルポスコピーや細胞診・組織診所見をみて診断を推定することができる。
7. 月経周期に関連するホルモン値について、その意義や相互関係、異常について説明ができる。
8. 婦人科良性・悪性腫瘍について、診断・鑑別診断・治療法を

説明できる。

9. 生殖医療について診断・治療法について説明できる。

D. 学習内容

講義で重点項目を中心に、症例を中心に診断から治療の流れにつき、知識、考え方の整理をする。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと（各1時間程度）。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること（各1時間程度）。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準産科婦人科学 医学書院
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 1. 講義録 産科婦人科学 メディカルビュー社
(R) 2. Textbook of Gynecology Williams and Wilkins
(R) 3. Handbook of Obstetrics and Gynecology Lange. Med. Pub.
(A) 4. Scientific Essentials of Reproductive Medicine
Saunders.
(A) 5. Williams Obstetrics Appleton-Century-Crofts
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
なし

- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【産科婦人科学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/24	水	1	子宮腫瘍	子宮頸癌・体癌および非上皮性悪性腫瘍である子宮肉腫について、疫学、病因、病理病態、症状、検査、治療、予後について復習する。	森定 徹	プリントまたはスライドを使用
9/7	水	2	絨毛性疾患、 外陰・膣疾患等	更年期、絨毛性疾患、外陰・膣疾患、感染症等について復習する。	百村麻衣	プリントまたはスライドを使用
9/7	水	3	月経異常	月経異常の定義、月経異常を起こす疾患とその診断法について、過去の講義の復習、解説をおこなう。	澁谷裕美	プリントまたはスライドを使用
9/20	火	3	正常妊娠・分娩、 妊娠の生理	妊娠の成立、流産・早産・正期産・過期産の定義、胎盤の構造および役割、胎児およびその付属物（臍帯、胎盤、卵膜）を中心として妊娠の生理、正常分娩の開始と経過およびその診断法について復習する。	田嶋 敦	プリントまたはスライドを使用
9/21	水	4	卵巣腫瘍	卵巣腫瘍について臨床症状から診断、治療に至るまで系統的に講義を行い、また国家試験過去問題を中心とした要点およびポイントを解説する。	松本浩範	プリントまたはスライドを使用
9/27	火	1	異常分娩（NRFS含む）と胎児の生理	胎盤の異常、陣痛の異常、回旋異常、分娩時異常出血、胎児機能不全（NRFS）、胎児期の臓器の発達や各臓器の機能の発育状態、胎児の異常について復習する。	竹森 聖	プリントまたはスライドを使用
10/3	月	2	異常妊娠、合併症妊娠	異常妊娠では異所性妊娠、流・早産、多胎妊娠、羊水の異常、妊娠高血圧症候群など、合併症妊娠では糖尿病合併妊娠、膠原病合併妊娠、心疾患合併妊娠、婦人科疾患合併妊娠などの復習する。	小林千絵	プリントまたはスライドを使用
10/17	月	2	不妊症	女性生殖器官の構造と機能を復習したのち、不妊症と不育症の病因、検査、診断ならびに治療について概説する。さらに、過去の試験問題を丁寧に解説しながら、関連した覚えるべき重要事項を確認していく。	渡邊百恵	プリントまたはスライドを使用

2022年度 6年 講義予定表

【産科婦人科学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/17	月	3	婦人科腫瘍	子宮・卵巣の良性・悪性疾患の診断、治療について概説する。	小林陽一	プリントまたはスライドを使用
10/18	火	3	女性医学（腫瘍を除く）	女性医学の中でも、更年期におこりうる疾患や症候群について復習する。	片山紗弥	プリントまたはスライドを使用
10/21	金	3	正常妊娠、正常分娩	過去の試験問題の解説を中心に正常妊娠の成立、正常妊娠経過における母体変化や胎児発育について復習する。また正常分娩の開始と経過およびその診断法について復習する。	松島実穂	プリントまたはスライドを使用
11/2	水	2	妊娠、分娩の異常	異常妊娠、異常分娩の基本項目を確認、復習する。	北村亜也	プリントまたはスライドを使用

学 科 目：臨床総合演習

主 題 目：運動器（整形外科学）

主題目責任者：細金直文 教授

担当教員：教 授 細金直文、森井健司

客員教授 小谷明弘

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

整形外科（運動器）分野の主要疾患について、問題解決型思考を育成する。

B. 到達目標

運動器の主要疾患について病態、診断方法、診断および鑑別診断、治療方法の原則を理解する。

C. 習得すべき能力

1. 運動器の正常構造と機能について理解し、主要な運動器疾患の病態と自然経過について説明できる。
2. 運動器の外傷について診断でき、その基本的治療法について説明できる。
3. 外傷以外の運動器疾患について、診断方法と治療方針について説明できる。

D. 学習内容

問題を提示し、当該疾患の診断から鑑別診断、治療法の選択までの思考過程を理解する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、講義範囲の教科書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、予習しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義で解説した演習問題を反復して解くことにより主要疾患に対する理解を深めること。また、教科書の関連部分も参考にして主要な運動器疾患の知識を整理する。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
井樋栄二、他編集 『標準整形外科学 第14版』 医学書院
 2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 土屋弘行他編集、「今日の整形外科治療指針」第7版 医学書院
 3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) 越智隆弘総編集、「最新整形外科学体系」シリーズ 中山書店
(A) 日本整形外科学会監修、「診療ガイドライン」シリーズ 南江堂
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【運動器(整形外科)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/30	火	1	関節疾患、骨・軟部外傷一般	頻度の高い関節疾患について病態、症状、治療法を系統的に解説する。さらに臨床的に重要な骨・軟部外傷について知識の整理を行う。	小谷明弘	標準整形外科学(第14版) 他 資料配布
9/13	火	3	脊椎・脊髄・神経学一般	臨床的に必要な神経学、脊椎脊髄疾患を系統的に復習する。	細金直文	標準整形外科学(第14版) 他 資料配布

【運動器(整形外科)】臨床総合演習Ⅱ(復習)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/4	火	4	診断学一般、骨・軟部腫瘍	臨床的に必要な運動器疾患の診断学を系統的に復習する。また、重要な骨・軟部腫瘍の基本的知識を解説する。	森井健司	標準整形外科学(第14版) 他 資料配布

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： リハビリテーション医学
主 題 目 責 任 者： 山 田 深 教 授
担 当 教 員： 教 授 山 田 深

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

リハビリテーション（以下リハ）に関する主要なテーマについて系統的復習を行う。

B. 到達目標

リハ医学における問題点について、人体の機能障害という視点のみならず、活動と参加という社会との接点における障害と理解し、生活機能を評価して介入する方法を示すことができる。また、チーム医療に関してリハ関連職種との役割、福祉的側面からの支援を説明できる。

C. 修得すべき能力

1. リハ医療の理念と関連職種を説明できる。
2. 代表的疾患で障害の構造を例示できる。
3. 運動器リハの対象と方法を説明できる。
4. 脊髄損傷の障害とリハの目標を説明できる。
5. 脳卒中の障害とリハの目標を説明できる。
6. 内部障害リハの対象と効果を概説できる。

D. 学習内容

過去の出題問題を提示して、関連する内容を系統的に復習する形式で講義を進める。とくに脳血管障害などの中枢神経損傷、また骨関節疾患に関連したリハ内容が大きな位置を占める。また、総論的内容も、関連付けて講義に含める。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

臨床医学講義「整形外科・リハ」「脳神経外科（脳外傷等）」「脳卒中・神経内科」「リウマチ」の試験でリハ科として出題した問題を見直し、関連事項について教科書や参考書等で情報を得ておくこと。

G. 復習学習の内容

演習で取り上げた試験問題（配布プリント）を見直し、わからないところがあれば関連する内容を教科書で調べ、理解を深めること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
医学書院「標準リハビリテーション医学 3版」
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(A) 医学書院「リハビリテーションレジデントマニュアル」
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(R) 金原出版「現代リハビリテーション医学」

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【リハビリテーション医学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/19	水	2	主な疾患のリハビリテーションとその理念	リハビリ理念・構成、障害分類、機能予後と目標設定、脳卒中、脳外傷、片麻痺、高次脳機能、廃用症候群、骨関節疾患、脊髄損傷、末梢神経障害、内部障害	山田 深	医学書院 「標準リハビリテーション3版」 3-30、 75-110、 172-204、 304-355、 417-421

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 泌尿器科学
主 題 目 責 任 者： 福 原 浩 教 授
担 当 教 員： 教 授 福 原 浩
 准教授 多武保光宏

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

卒業後の臨床研修に必要な十分な泌尿器科領域の医学知識を習得し、応用力を付けることを目標とする。

以下を基本方針とする。

1. 副腎・腎尿路性器系の基礎的知識の修得
2. 各疾患理解の基本となる解剖学や生理学的検査、画像診断について学習し、その後各疾患について理解を深める。特に全身との関わりの中で各疾患を理解できるようにする。
3. 医の倫理、医師の使命の自覚を培うことを目標とし、本領域の医学知識を兼ね備えた医師を育成する卒前教育を基本方針とする。

B. 到達目標

医師の素養として必須である価値観、倫理、態度の習得を完成させる。泌尿器疾患の成因、病態、予後における特性についての知識の整理を完成させる。自主的な意見の発信を促し、コミュニケーション能力の向上を目指す。

1. 腎尿路性器系の形態を理解し、それぞれの基本的機能を述べることができる。
2. 腎尿路性器系の症候と病態について説明することができる。
3. 泌尿器科の診療体系は腫瘍学、腎臓病学、内分泌学、神経内科学、小児及び老年医学などと関連した領域を有する。どの分野においても医師として修得すべき基本的な腎泌尿器生殖器疾患の概念、病態、およびその診断に必要な検査法、治療法などを系統立てて理解し、具体的に述べるようにする。

C. 修得すべき能力

泌尿器科に特徴的な症状（血尿、排尿困難など）から鑑別すべき疾患を列挙でき、それぞれの疾患の治療法を正しく提示できる。

1. それぞれの主要症候から鑑別すべき疾患を的確に答えられる。
2. 解剖学的知識から、泌尿器癌の転移形式を類推できる。
3. 泌尿器疾患の手術療法の基礎を理解し、解剖学の知識でこれを説明できる様にする。

D. 学習内容

過去の試験問題を中心に、泌尿器科全領域を俯瞰できるように各疾患を解説する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

指定教科書を通読してることが望まれる（目次を見て、それぞれの検査や疾患がどのようなものか連想できるようにしておく）。M4、M5で行った試験問題を見直しておくこと。各1時間程度。

G. 復習学習の内容

授業で配られた問題に再度目を通し、教科書の関連部分を熟読することにより知識を一層確実なものにする。各1時間程度。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
(R)病気が見える vol.8 腎・泌尿器 MEDIC MEDIA
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(A)LANGE medical book Smith & Tanagho's General Urology (18th edition)
(A)標準泌尿器科学 第8版 医学書院
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A)Campbell-Walsh Urology (12th edition)

(A)ベッドサイド泌尿器科学 (改訂第4版) 南江堂

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2021年度 6年 講義予定表

【泌尿器科学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/4	火	1	症候	重要な泌尿器科的症候をまとめる。またこれら症候と組み合わせられ、診断に到るための検査について解説する。 (資料配付)	多武保光宏	病気がみえるvol.8 腎・泌尿器 16～48
10/4	火	2	尿路閉塞	まず上部尿路閉塞と下部尿路閉塞を整理し理解する。その上でそれぞれに特徴的な疾患について解説。(資料配付)	多武保光宏	病気がみえるvol.8 腎・泌尿器 242～247、 294～319

【泌尿器科学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/19	水	3	最後に覚えておくことは？	泌尿器科関連の総集編として最後に覚えておくべきことをまとめる。	多武保光宏	病気がみえるvol.8 腎・泌尿器 242～352

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 皮膚科学
主題目責任者： 大山 学 教授
担 当 教 員： 教 授 大山 学、水川良子
その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

系統講義、BSLを通じて習得した皮膚科全般に関する理解、知識の固定化を目指す。実臨床における他の診療科との連携を意識し、学問体系としての医学全体における皮膚科学の占める位置を理解するとともに他科領域との関連について学ぶ。加えて、最新知識を習得するための文献検索などの学術的手法を学びつつ、未修得の知識の発掘に努め、それを補填するための方法論を学ぶ。

B. 到達目標

皮膚科診療に必要な診断のための方法論を習得する。代表的皮膚疾患に関する知識を備えるとともに、発疹学に基づき皮疹の性状を正確に記載または提示する能力を身につける。また、それに基づき鑑別疾患をあげ疾患を除外し診断にたどりつくための方法論を習得する。遭遇したことのない疾患の診断のために学術資料を検索する能力を会得する。研修が終了した際には、代表的な皮膚疾患を診断し治療方針をたてることができるようになることを目指す。特に初期臨床研修で活用できる皮膚科学の基本的事項の確実な習得を目指す。

C. 修得すべき能力

1. 皮膚の基本構造と生理学的、免疫学的特徴について理解し、その異常として皮膚疾患の病態を説明できる。
2. 皮疹について肉眼的所見、画像解析デバイスをを用いた観察結果から病理組織学的所見を想起できる。
3. 全身疾患とその特徴的皮膚所見を関連付けることができる。
4. 遺伝的素因を背景に発症する皮膚疾患の機序を分子生物学的、細胞生物学的見地から説明できる。

5. 皮膚腫瘍の発生母地、疫学、生物学的特性を修得する。
6. 皮膚科学で用いられる治療法の特徴について理解する。
7. アピアランスの障害の観点から皮膚疾患が患者の精神状態・社会生活に与える影響を判断することができる。
8. 以上で修得した知識を活用し皮膚疾患の病態に基づき最適な治療を選択することができる。また、習得した知識に基づき専門医へのコンサルテーションの要不要について判断できるようになる。

D. 学習内容

講義のテーマを特に皮膚科学領域で重要な「皮膚科学総括—皮膚科学における重要疾患の再確認」「湿疹・皮膚炎、薬疹、乾癬など」、「紅斑・紫斑、感染症」、「検査・症候、水疱症・膿疱症」、「腫瘍・母斑、その他」の中で、重要と思われるポイントに絞って行う。講義では教員からできるだけ質問を投げかけ相互のコミュニケーションを図りアクティブラーニングの機会を設ける。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。特に系統講義で配布したプリント、推奨図書該当テーマについての記載部分に関して知識の再確認のために事前に習熟しておくことが望ましい。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題を熟読して復習すること。各1時間。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。試験での得点にもとづく判定結果によりフィードバックを行う。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
清水 宏著 あたらしい皮膚科学(第3版) 中山書店 2018
 2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 岩月啓氏監修 照井 正、石河 晃編集 標準皮膚科学(第11版)
医学書院 2020
(R) 大塚藤男著 上野賢一原著 皮膚科学(第10版) 金芳堂 2016
 3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) Bologna J et al: Dermatology 4th edn. Mosby 2017
(A) Kang S, et al.: Fitzpatrick' s Dermatology 9th edn.
MCGRAW-HILL EDUCATION 2019
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【皮膚科学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/14	水	4	検査・症候、湿疹・皮膚炎、乾癬、水疱症・膿疱症など	過去の試験問題をたたき台に、検査・症候、湿疹・皮膚炎、乾癬、水疱症・膿疱症など」に関わる重要ポイントをまとめ、必要な知識を整理、記憶させる。	木下美咲	50～72、 93～114、 186～201、 202～227、 228～257
9/26	月	1	国試における皮膚科学の位置付け、腫瘍・母斑、その他	過去の試験問題をもとに皮膚科学の位置付け、ポイントを概説する。次いで各論の学習のモデルとして腫瘍・母斑、その他（褥瘡など）の知識を整理し、必要な事項を習得させる。	大山 学	85-92、 327-354、 355-407、 409-423
10/26	水	4	紅斑・紫斑、感染症、薬疹	過去の試験問題をたたき台に、「紅斑・紫斑、感染症、薬疹」に関わる重要ポイントをまとめ、この項目内で必要な知識を整理、記憶させる。	倉田麻衣子	115～125、 126～160、 449～466、 483～491、 424～448、 467～482

2022年度 6年 講義予定表

【皮膚科学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/7	水	4	皮膚科学全般	過去の試験問題をたたき台に、皮膚科学全般に関わる重要ポイントをまとめ、必要な知識を整理、記憶させる。講義は質問形式とし、知識の定着を目指す。	水川良子	50～72、 93～114、 186～201、 202～227、 228～257、 115～125、 126～160、 449～466、 483～491、 424～448、 467～482、 85～92、 327～354、 355～407、 409～423

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 眼科学
主 題 目 責 任 者： 井上 真
担 当 教 員： 教 授 岡田アナベルあやめ、山田昌和、慶野博
准教授 厚東隆志、北 善幸
講 師 鈴木由美、廣田和成、松木奈央子、
石田友香、片岡恵子
学内講師 中山真紀子

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

卒後臨床研修を見据えた眼科学の総まとめと位置付けられる講義である。これまでの系統講義、および臨床実習で習得した知識を整理し、眼科領域の主要疾患、全身疾患に関連する眼疾患、および救急疾患に関する病態の理解に基づいた診断学的思考を育成する。臨床研修を行うにあたり必要とされる主要眼科疾患の基本的な知識、必要な検査、鑑別診断、治療方針について理解する。

B. 到達目標

主要な眼疾患の症状、眼所見、診断に必要な検査など診断までのプロセス、鑑別診断、適切な治療法、視力予後などについて理解している。また高血圧や糖尿病など全身疾患に合併する代表的な眼所見について理解している。眼科領域における救急疾患の診断と治療の基本的知識を習得している。また感染性眼疾患に対する院内感染対策について理解している。

C. 修得すべき能力

1. 主要な眼疾患の病態を理解し適切な検査、診断、治療の選択ができる。
2. 全身疾患に合併した眼病変の診断ができる。
3. 眼科救急疾患の診断、治療の選択ができる。
4. 主要な眼感染症に対する診断、治療の選択ができる。

D. 学習内容

主要疾患について代表症例を呈示しながら、各疾患の病態・診断過

程を理解する。また関連する過去の試験問題についてその要点を提示、解説する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、キーワードに関連するM4の講義内容を復習しておくこと。またBSLで配布された資料、クルズスの内容について復習しておくこと。

G. 復習学習の内容

講義プリント、講義中に出题された練習問題の解答、および教科書の関連ページを熟読して復習すること。また過去の国家試験問題の中から講義で解説した問題と類似の問題を解き、講義で学習した内容を整理、定着させること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準眼科学（第14版）医学書院
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R)眼科学 文光堂
(R)病気がみえる Vol 12 眼科 Medic Media
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A)今日の眼疾患治療指針 医学書院

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【眼科学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/8	木	4	後眼部疾患 1	重要な眼底疾患、とくに糖尿病網膜症、網膜剥離、高血圧眼底などを中心に講義を行う。	廣田和成	標準眼科学 (14版) 8, 14章
10/27	木	1	眼の解剖、生理、視機能検査	眼球、視路、眼付属器（眼瞼、眼窩、外眼筋、涙器）の解剖、生理機能、眼科内検査について講義を行う。	松木奈央子	標準眼科学 (14版) 1, 2, 9 章
10/27	木	2	前眼部疾患・後眼部疾患 2	前眼部疾患(眼瞼、結膜、角膜、水晶体疾患)、斜視・弱視疾患、ぶどう膜炎について講義を行う。	松木奈央子	標準眼科学 (14版) 3, 4, 5, 10, 16章

【眼科学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/2	水	4	前眼部疾患、後眼部疾患	重要な眼瞼、結膜疾患、角膜、水晶体疾患、斜視・弱視疾患、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症、緑内障について講義を行う。	慶野 博	標準眼科学 (14版) 全般

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 耳鼻咽喉科学
主題目責任者： 齋藤康一郎 教授
担 当 教 員： 准 教 授 横井秀格、増田正次
講 師 宮本 真
学内講師 佐藤 大

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

耳鼻咽喉科学は聴覚、嗅覚、味覚や平衡覚などの感覚機能、発声や咀嚼・嚥下などの運動機能や頭頸部領域における炎症疾患や腫瘍を対象とする学問である。また、診断や薬物治療などの内科的側面や侵襲のある処置や手術療法など外科的側面も有している。

本講義では耳鼻咽喉科疾患の包括的な理解を目指し、病態生理、診断や治療について解説する。耳鼻咽喉科総論や各論についての知識及び病棟実習の経験を踏まえて、耳鼻咽喉科領域を総合的に理解、復習させることを基本方針とする。

B. 到達目標

耳鼻咽喉科疾患の解剖学的な特異性と感覚器を中心とする病態生理の理解を深め、該当する一般検査法及び耳鼻咽喉科特有な検査方法を理解し、診断や治療までの一連の知識の定着を目指す。

また、疾患に対する治療法は1つではなく、症例に応じた選択が求められる。その為には患者の全身状態を把握した上で然るべき治療法が選択できるように幅広く知識を身につける。

C. 修得すべき能力

1. 耳鼻咽喉科特有の複雑な立体的な解剖を描けるようにし、正常所見と異常所見の違いを認識する。
2. 耳鼻咽喉科領域における正常機能、主要疾患の病態生理、検査方法や治療法などの医学的知識を身につける。
3. 一般診療で頻度の高い疾患および致死的になりえる疾患に対する知識を習得する。
4. 適切な情報源にアクセスして必要な情報を収集することができる。

D. 学習内容

関連する過去の試験問題の解説や、その要点を提示する。臨床総合演習Ⅰにおいて1. 耳疾患、2. 鼻・副鼻腔疾患、3. 口腔・咽頭・喉頭疾患、頭頸部腫瘍の3回の講義を予定している。臨床総合演習Ⅱでは耳鼻科全般の復習を行う。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容(シラバス)の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、4年生時の講義の復習を画像診断などの基本的なものを含めて行うとともに、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得た上で、これに目を通しておくこと。各0.5-1時間程度。

G. 復習学習の内容

講義で配布された資料の復習及び教科書の関連するページを熟読し、過去の医師国家試験問題にて演習を行う。誤った知識を有している場合は速やかに講義資料や教科書にて確認して知識を深める。各1時間程度。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書(学生が所持しなければならないもの)

(1)New Simple Step 耳鼻咽喉科。監修 渡辺建介。総合医学社。

(2)国家試験過去問題集。

2. 参考書A(学生の所持をすすめるもの)

(R) 1. あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学。編集 香取幸夫ら。中山書店。

写真とイラストが多く解剖、疾患を目で見て理解しやすい

- い。
- (R) 2. 今日の耳鼻咽喉科・頭頸部外科治療指針。第4版。編集 森山寛ら。医学書院。
第一線の臨床に即しており、患者の診察から最近のトピックまで各分野の専門家が執筆し中身が濃い。
- (R) 3. 病気がみえる 耳鼻咽喉科。編集 医療情報科学研究所。
メディックメディア。
写真とイラストが多く解剖、疾患を目で見て理解しやすい。
3. 参考書B (図書館等での利用をすすめるもの)
- (A) 新耳鼻咽喉科学 切替一郎、野村恭也編著 改訂第11版 南山堂。
基本と応用のそれぞれが必要かつ十分な範囲で記載されている。
- ※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2021年度 6年 講義予定表

【耳鼻咽喉科学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/12	月	4	口腔・咽頭・喉頭疾患、頭頸部腫瘍	口腔咽頭疾患、頭頸部の良性・悪性腫瘍、感染症に関して講義を行う。最近数年間の国家試験問題を中心に解説する。	佐藤 大	国家試験過去問題集
10/3	月	3	耳疾患	中耳、内耳の構造、聴覚・平衡覚生理とその検査方法、真珠腫性中耳炎などの中耳疾患の診断と治療、突発性難聴、メニエル病などの内耳関連疾患の診断と治療について。最近数年間の国家試験問題を中心に解説する。	増田正次	国家試験過去問題集
10/20	木	2	鼻・副鼻腔疾患	鼻腔・副鼻腔の解剖と疾患の総括：鼻副鼻腔の生理的機能、解剖、検査、画像診断、疾患（急性炎症、慢性炎症、アレルギー、良性腫瘍、悪性腫瘍など）。最近数年間の国家試験問題を中心に解説する。	横井秀格	国家試験過去問題集

【耳鼻咽喉科学】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/18	火	4	耳鼻科全般	国家試験の問題を中心に、耳鼻科においてこれだけは知っておかぬばならないという事項に関して講義を行う。	宮本 真	国家試験過去問題集

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 救急、中毒（救急医学）
主 題 目 責 任 者： 山口芳裕 教授
担 当 教 員： 教 授 山口芳裕、松田剛明
講 師 海田賢彦
学 内 講 師 宮国泰彦、加藤聡一郎
非 常 勤 講 師 百瀬琢磨
その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

救急医学について M6 として必要な知識の習得と応用

B. 到達目標

救急医学の総論・各論の重要事項につき、その基礎的および臨床的知識を習得している。

C. 修得すべき能力

1. 救急医学で扱う疾患の原因、病態、臨床の特徴等、基礎的・臨床的知識を系統的に理解している。
2. 上記疾患の救急診療における適切な検査や処置法について、概略を述べることできる。

D. 学習内容

救急医学総論の他、急性中毒、熱傷、神経救急、呼吸器系、循環器系、消化器系、感染症、外傷学総論・各論、心肺蘇生、災害医療等に関する講義を行なう。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関

連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G. 復習学習の内容

授業で扱った項目等について、教科書や配布資料等を参考にして授業内容をよく理解・記憶するようにする。また必要に応じて、文献検索等により関連事項についての知識を深めるようにすること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）

日本救急医学会（監修） 標準救急医学 第5版 医学書院

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(A) 1. 日本救急医学会（監修） 救急診療指針 改訂第5版
へるす出版

(A) 2. 日本外傷学会、日本救急医学会（監修）
外傷初期診療ガイドライン 改訂第5版 へるす出版

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) 1. 上條吉人著 臨床中毒学 医学書院

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【救急、中毒(救急医学)】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/30	火	2	【救急】 外傷・ 救急各論	外傷について、過去の試験問題を解説しながら、その背景にある病態生理、検査、治療等について解説する。 その他、救急医学で扱う中枢神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系等、内因性救急疾患の各論についても、広く解説する。	宮国泰彦	29-47 145-152 309-348 359-425
9/13	火	1	【救急】 熱傷・災害	熱傷・災害の病態生理、検査、治療などについて解説する。	海田賢彦	425-436 459-479
9/28	水	1	【救急】 ショック・心肺蘇生・中毒	ショック・心肺蘇生・急性中毒の病態生理、検査、治療などについて解説する。	山口芳裕	359-425 439-452

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 法医学
主 題 目 責 任 者： 北村 修 教授
担 当 教 員： 助 教 山田真嗣

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

法医学は、医学および自然科学を基礎として法律上の問題を研究し応用する社会医学と定義される。実際には、医学に関わる具体的問題を対象として社会活動を行う学問である。このような法医学の基礎と実際、および臨床医学に関連する様々な内容について理解することを目標とする。

B. 到達目標

医師・医学研究者に求められる倫理と法的責任を認識する。
適切な医療記録を作成するための基本的原理を理解する。
医療に関わる法律や、医療現場で適切に行うべき対応を理解し、医師が交付しなくてはならない文書を正しく作成できるようにする。

C. 修得すべき能力

1. 異状死体及び異状死体を検案したときの医師としての対応を説明できる。
2. 死亡診断書と死体検案書の違い及び記載内容を説明できる。

D. 学習内容

法医学の基礎的知識と医療に関わる法律の考え方について説明し、診断書・検案書・証明書などの医師が交付しなくてはならない文書の作成方法、医療現場における医師の対応や適切な判断などについて解説する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に、履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」「講義内容」を読み、最低でも指定教科書で予習を行い、必要に応じて参考書や文献検索等により関連事項について目を通しておくことが望ましい。

G. 復習学習の内容

配布されたプリントや教科書の該当するページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
NEW エssenシャル法医学 医歯薬出版 第6版

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R) 死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル 厚生労働省
のホームページよりダウンロード

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(A) 死体検案ハンドブック 金芳堂 第4版

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【法医学】臨床総合演習 I

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/20	火	2	診断書記入・ 異状死等における 医師の対応	法医学の基礎的知識と医療に関わる法律について説明し、診断書・検案書・証明書などの医師が交付しなくてはならない文書の作成方法、医療現場における医師の対応や適切な判断などについて解説する。	山田真嗣	1-60 525-54 0

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 臨床検査医学・輸血医学
主題目責任者： 大西宏明 教授
担 当 教 員： 助 教 山崎聡子

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

臨床検査および輸血医学の重要知識を整理し、その理解を確実なものとするにより、臨床医学科目で学ぶ様々な疾病の診断・治療に役立てる能力を養う。

B. 到達目標

臨床検査および輸血医学領域の基本事項を身につける。
基本的な生理機能検査を理解する。

C. 修得すべき能力

1. 採血の手順と注意点、および合併症と予防について述べられる。
2. 検査の感度・特異度・尤度比・ROC 曲線の意義を理解し、検査後確率を計算できる。
3. 検体検査の意義と検査値に変動を与える要因について述べられる。
4. 生理機能検査の基本について理解できる。
5. 輸血検査の原理と方法、および輸血の意義と適応、合併症について述べられる。

D. 学習内容

過去の臨床検査および輸血医学に関する試験問題に基づき、要点の整理を行う。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義

内容」を読み、参考書を参照し、関連事項についての情報を得ておく。

G. 復習学習の内容

講義で配布されたプリントおよび参考書の関連ページを熟読して復習すること。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
高木康 監修 標準臨床検査医学 医学書院
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
なし
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
(R) 金井正光 監修 臨床検査法提要 金原出版
(R) 厚生労働省 輸血療法の実施に関する指針および血液製剤の使用指針（改訂版）
(A) 日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会編 臨床検査のガイドライン JSLM2021. 宇宙堂八木書店
(A) 上田剛士著 内科診断リファレンス 医学書院
(R) 日本臨床検査標準協議会編 標準採血法ガイドライン（GP4-A3）学術広告社

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【臨床検査医学・輸血医学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/22	金	1	検体検査・ 生理検査・輸血	臨床現場で重要な検体採取や血液検体の取り扱い、検体検査・生理機能検査の基礎および輸血について、実際の過去の試験問題を通じて復習する。	山崎聡子	標準臨床検査医学 p3～44, p337～369 +プリント 使用

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 病理学
主 題 目 責 任 者： 柴原純二 教授
担 当 教 員： 教 授 柴原純二
 教 授 藤原正親
 講 師 長濱清隆

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

病理所見に基づき、疾患を鑑別し、確定診断を下す能力を育成する。

B. 到達目標

主要疾患の病理形態像を理解し、臨床所見と合わせて疾患を正しく診断できる。

C. 修得すべき能力

1. 呼吸器、腎・泌尿器、消化器の主要疾患の病理組織像を説明できる
2. 形態所見から、鑑別診断を挙げられる
3. 臨床所見と病理所見を統合し、疾患の確定診断を下すことができる

D. 学習内容

主要な疾病の肉眼、組織、細胞レベルの画像から異常所見を的確に認識し、正確な病理診断にいたる過程を理解する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

M3、M4、M5で学んだ病理学講義・実習を復習し、関連する知識を整理しておく。所要時間各1時間程度。

G. 復習学習の内容

配布されたプリントおよび教科書の関連ページを熟読して復習すること。所要時間各1時間程度。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書

ルービン病理学 西村書店 2017

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(A) 病理組織の見方と鑑別疾患 医歯薬出版 2020

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(R) ロビンス基礎病理学 丸善 2018

(R) 標準病理学 医学書院 2019

(R) 解明病理学 医歯薬出版 2021

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【病理学】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/26	水	1	呼吸器疾患の病理診断	代表的な呼吸器疾患についての組織・細胞診断のポイントを概説する。非腫瘍性疾患・腫瘍性疾患における検査・診断法の意義について理解を深める。	藤原正親	資料配布
10/26	水	2	腎泌尿器疾患の病理診断	腎臓内科疾患（原発性糸球体腎炎、続発性糸球体腎炎）および泌尿器科疾患の病理組織診断のポイントを概説する。	長濱清隆	資料配布
10/26	水	3	消化器疾患の病理診断	消化器の主要な疾患について、臨床所見や病態を理解するうえで必要な病理学的事項を再確認する。各疾患の組織所見のポイントを解説する。	柴原純二	資料配布

※臨床総合演習Ⅱ（復習）の授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 社会医学（公衆衛生学）
主 題 目 責 任 者： 荻田香苗 教授
担 当 教 員： 教 授 荻田香苗
 准教授 吉田正雄

A. 教育の基本方針

医師として具有すべき公衆衛生に関する知識を全般的に確実なものにし、個人あるいは地域・職域において健康を維持し疾病を予防する方策を修得することを目的とする。

B. 到達目標

健康課題の解決のために必要な保健医療制度、医療経済、社会保障・社会福祉に係わる知識を身に付け、さらに関連法規の種類とその基本的内容、各種医療専門職の役割、疫学の方法論について説明できるようにする。予防医学、臨床医学、福祉活動の相互関連性を理解した上で、望ましい地域保健活動ならびにグローバルな保健医療活動を実践できる力を養うことを目標とする。

C. 修得すべき能力

1. 集団の健康増進・疾病予防に有用な公衆衛生的事象や概念について説明できる。
2. わが国の保健・医療・福祉・介護の現状と問題点を述べることができる。
3. わが国の保健・医療・福祉・介護における対策・制度を説明できる。
4. 公衆衛生関連の統計を収集し分析する能力を身につける。
5. 公衆衛生上の課題を解決に導くための基本的態度・習慣・考え方を身につける。

D. 学習内容

公衆衛生学の各単元のトピックスについて、重要事項の総復習を行う。プリントとスライドを用いて演習を行い、公衆衛生学の幅広い領域の要点を整理する。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

臨床総合演習の一環として行われる「公衆衛生学」の講義であり、総合的な理解を目的として講義を行う。すでに系統的に公衆衛生学講義を終了し、内容を理解していることが前提である。事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」と「講義内容」を把握して時限ごとに網羅される範囲を理解し、M3、M6で受講した内容を復習しておく（各単元1時間程度）。

G. 復習学習の内容

演習で配布・解説されたプリントと「国民衛生の動向」の関連ページを確認して復習すること（1時間程度）。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書

New Simple Step 公衆衛生 高橋茂樹、西 基著 第1版
総合医学社 2020 ISBN 978-4-88378-718-0 6,000円

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 厚生統計協会発行の「厚生指標」の特集号、「国民衛生の動向」2021/2022（2022/2023年版は8月末～9月初め頃に出版される）2,450円

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの） なし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【社会医学（公衆衛生学）】臨床総合演習Ⅱ（復習）

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/27	木	3	問題演習Ⅰ	以下の公衆衛生関連分野について問題演習を行う。医の倫理、患者の権利、医学研究と倫理、職種と社会資源、リハビリテーションの概念、ノーマライゼーション、診療情報と諸証明書、医療の質と安全の確保、医療面接、死と終末期ケア、チーム医療、生活習慣病とリスク、【保健医療論】健康の定義、国際生活機能分類、保健・医療・福祉・介護関係法規、保健・医療・福祉介護従事者の現状と役割、地域保健・地域医療、国際保健など、【予防と健康管理・増進】予防医学と健康保持増進、人口統計と保健統計、疫学とその応用など、【生活環境因子・職業性因子による疾患】食中毒、病害動物による疾患、産業中毒とその他の職業性疾患など	吉田正雄	2-405
10/28	金	2	問題演習Ⅱ	以下の公衆衛生関連分野について問題演習を行う。医の倫理、患者の権利、医学研究と倫理、職種と社会資源、リハビリテーションの概念、ノーマライゼーション、診療情報と諸証明書、医療の質と安全の確保、医療面接、死と終末期ケア、チーム医療、生活習慣病とリスク、【保健医療論】健康の定義、国際生活機能分類、保健・医療・福祉・介護関係法規、保健・医療・福祉介護従事者の現状と役割、地域保健・地域医療、国際保健など、【予防と健康管理・増進】予防医学と健康保持増進、人口統計と保健統計、疫学とその応用など、【生活環境因子・職業性因子による疾患】食中毒、病害動物による疾患、産業中毒とその他の職業性疾患など	荻田香苗	2-405

※臨床総合演習Ⅰの授業はありません。

学 科 目： 臨床総合演習
主 題 目： 診療録記載
主 題 目 責 任 者： 矢島知治 教授
担 当 教 員： 教 授 矢島知治

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A. 教育の基本方針

診療録は通常 SOAP 形式で記載される。本講義では、その原理と具体的な記載方法、診療録を記載することの意義について学習する。

B. 到達目標

SOAP 形式のそれぞれの項目が何を記載するためのスペースなのか、どのように有機的に繋がりをを持たせるべきなのかを理解するとともに、具体的な記載方法の基本も身につける。

C. 修得すべき能力

1. SOAP 形式のそれぞれの項目が何を記載するためのスペースなのか、どのように有機的に繋がりをを持たせるべきなのかを説明できる。
2. 記載にあたっての原則とコツを説明できる。
3. 診療録記載の意義を説明できる。

D. 学習内容

SOAP 形式の診療録の成り立ちと記載方法を双方向性の授業を通じて学習する。スマートフォンまたはタブレット端末を持参すること。

E. 実習・課外授業

1. 実習 なし
2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

なし

G. 復習学習の内容

クリニカルクラークシップでの実践に向けて、本講義の内容を繰り返し復習し、理解と定着を深めておくこと。

H. 成績評価の方法・基準

総合試験で判定する。合否判定は「M6 試験に関する内規」に従う。臨床総合演習の授業時間の3分の1を超える欠席があった者は、総合試験受験の資格を喪失する。

I. 学習指導書

1. 教科書

なし

2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）

なし

3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

なし

※(R) : Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A) : Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 6年 講義予定表

【診療録記載】臨床総合演習Ⅰ

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/19	火	4	診療録記載	クリニカルクラークシップにおける診療録記載の実践に向けて、診療録の成り立ちと記載方法、診療録記載の意義について双方向性の講義で理解を深める。	矢島知治	なし

※臨床総合演習Ⅱの授業はありません。